

- 第 1 章 はじめに
- 第 2 章 安全にお使いいただくために
- 第 3 章 ソフトウェアをインストールする
- 第 4 章 スキャナーを接続する
- 第 5 章 原稿をセットする
- 第 6 章 CaptureOnTouch でスキャンする
- 第 7 章 スキャナードライバーの設定
- 第 8 章 目的別にスキャンする
- 第 9 章 日常のお手入れ
- 第 10 章 消耗品の交換
- 第 11 章 ソフトウェアをアンインストールする
- 第 12 章 トラブルシューティング
- 第 13 章 付録

 **imageFORMULA**
DR-C225 II
DR-C225W II

ユーザーマニュアル



- ◆ご使用前に必ず本書をお読みください。
- ◆将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

第1章 はじめに

###HOME > 第1章 はじめに ###

このたびはキャノンドキュメントスキャナー imageFORMULA DR-C225 II/C225W II をお買い求めいただきありがとうございます。

本製品の機能を十分にご理解いただき、より効果的にご利用いただくために、本製品をご使用になる前に本書および以下のマニュアルをよくお読みください。また、お読みになったあと大切に保管してください。

本書の読みかた.....	2
本製品の特長.....	3
各部の名称と機能.....	5
規制について.....	6
商標および登録商標について.....	7

本書の読みかた

###HOME > 第1章 はじめに > 本書の読みかた ###

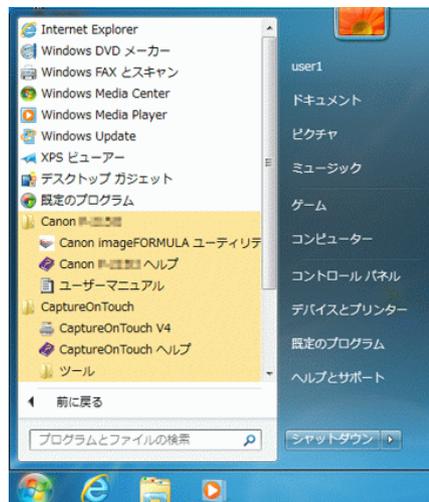
マニュアルの構成

本製品には、下記のマニュアルが用意されています。

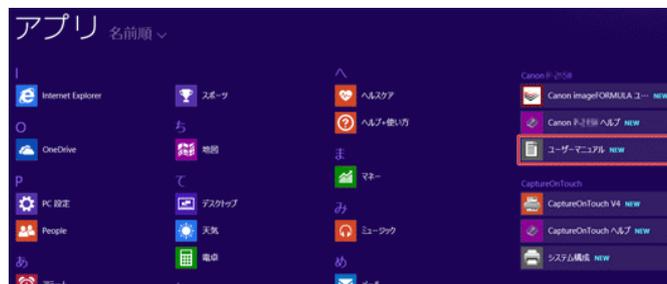
- セットアップガイド
本製品のセットアップ方法を説明したマニュアルです。本製品をお使いになる前に、必ずお読みください。
- ユーザーマニュアル（本書）
本製品の操作方法全般を説明したマニュアルです。電子マニュアルとしてセットアップディスクに収録されています。

Windows

ユーザーマニュアルは、セットアップディスクからのソフトウェアのインストール後、スタートメニューの以下の場所に登録されます。



Windows 8.1 では以下の場所に登録されます。



Mac

ユーザーマニュアルは、セットアップディスクからのソフトウェアのインストール後、下記に表示されます。

/Applications (アプリケーション)/DR-C225ユーザーマニュアル.app

マニュアル内の表記について

本書で使用している記号・表示について説明します。本書をお読みになる前に、その意味を理解しておいてください。



警告

取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。



注意

取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。



お願い

操作上必ず守っていただきたい重要事項や禁止事項が書かれています。機械の故障や損傷を防ぐために、必ずお読みください。



メモ

操作の参考となることや補足説明が書かれています。必ずお読みください。

本製品の特長

###HOME > 第1章 はじめに > 本製品の特長 ###

DR-C225 II/C225W II の主な特長は以下のとおりです。

- コンパクトデザイン
給紙トレイを開いた状態で幅 300 mm (11.81") × 高さ 339 mm (13.3") × 奥行き 235 mm (9.25") のコンパクトなサイズです。新設計の給紙機構の採用により、スキャナーの手前に排紙用のスペースが必要ない省スペース化を実現しています。
- 高速原稿給紙
最大 25 枚 / 分で原稿をスキャンします (A4 サイズの片面または両面原稿を 200dpi でスキャンした場合)。
- 多様な原稿のスキャンに対応する 2 つの排紙方法
普通紙は設置スペースが小さい U ターン排紙でスキャンし、カードや厚い原稿などはストレート排紙でスキャンするという使い分けができます。
- 高画質
光学解像度 600dpi センサーの採用により、原稿を高画質で読み取ることができます。
- USB2.0 インターフェイス
Hi-Speed USB2.0 に対応します。
- カラー / グレースケール対応
原稿を 24 ビットカラーや 256 階調グレースケールで読み取ることができます。
- 多様な読み取りモードをサポート
原稿の種類によって、以下のようなさまざまな読み取りモードに対応しています。
 - ・ 片面または両面 (白紙スキップ機能あり) スキャン
 - ・ 連続または一枚給紙
- カードスキャン
ISO/JIS 規格に準拠したサイズのカードをスキャンできます。
- 自動原稿サイズ検知
読み取った原稿のサイズは自動的に検知され、定型外の原稿も原稿の周りの余分なスペースは省かれて保存されます。
- カラー原稿自動検知
読み取った原稿がカラー、グレーまたは白黒 (二値) のいずれかを自動判別して画像を保存します。

- フルオートモード
CaptureOnTouch およびスキャナードライバーに、スキャン条件を自動的に決定する「フルオートモード」が用意されています。カラーモードや用紙サイズなどのスキャン条件が原稿に合わせて自動的に設定されます。
- 解像度の自動検知
CaptureOnTouch およびスキャナードライバーの設定により、原稿の内容から解像度を自動的に決定することができます。
- 半折りスキャン
半折りにした原稿をそのままセットし、両面スキャンをして読み取った 2 枚の画像を 1 枚の画像に合成します。
- 斜行補正
原稿が斜めに給紙された場合は、スキャンされた画像をまっすぐに補正します。
- 超音波重送検知
重なって給紙された原稿と原稿の間を超音波で検知したときに重送と判断して給紙を停止させます。
- 文字強調モード
背景が濃い原稿や、背景が均一でない原稿を読みやすくするアドバンステキストエンハンスメントモード (Windows のみ) と、背景が均一で文字、背景ともに薄い原稿の文字を読みやすくするアドバンステキストエンハンスメント II モードを備えています。
* 原稿によっては、有効に機能しない場合があります。
- ドロップアウトカラー
白黒またはグレースケールでのスキャン時に、原稿の中の特定の色を読み取らないようにする (ドロップアウト) 機能を備えています。
- 自動白紙スキップ機能
原稿が片面であるか両面であるかを気にせずにスキャンができる、自動白紙スキップ機能を備えています。原稿の両面をスキャンし、白紙と判断した面のスキャン画像の保存をスキップします。
- プレスキャン機能
読み取りをする前にプレスキャンをして、プレスキャンした画像で明るさとコントラストを調整してから読み取りをします。
- 文字 / 線の太さ補正機能
スキャンした画像の文字や線が判別しにくい場合に、文字や線の太さを補正してスキャンする機能を備えています。

- CaptureOnTouch
同梱ソフトウェアの CaptureOnTouch で、原稿の種類や使用目的に応じたスキャン方法が用意されており、スキャン方法を選択するだけでかんたんにスキャンができます。
- お気に入りスキャン
CaptureOnTouch では、よく使うスキャンモードと出力方法の組み合わせを「お気に入り」に登録してすばやく実行できます。任意の「お気に入り」をスタートボタンに割り当てることもできます。
- 自動スタート
原稿を給紙口にセットすると、原稿を検知して自動的にスキャンを開始する自動スタート機能を備えています。
- スリープモード
スキャン実行時以外は、スリープモードに移行する省エネ設計です。
- Wi-Fi 送信機能 (DR-C225W II のみ)
Wi-Fi 接続された PC やデバイスから本製品を操作して原稿を読み込むことができます。また、スキャンデータは Wi-Fi 接続されたスマートフォン、タブレット PC といったスマートデバイスなどに直接送信することが可能です。



メモ

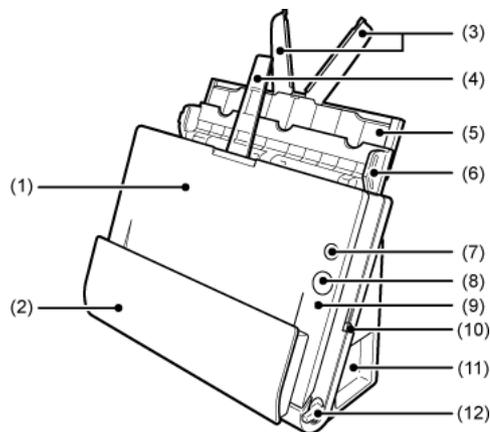
ソフトウェア上には、本機の名称は「DR-C225」と表示されます。

各部の名称と機能

###HOME > 第 1 章 はじめに > 各部の名称と機能 ###

本製品の各部の名称と機能について説明します。本製品を使用する前にご確認ください。

■前面・右側面



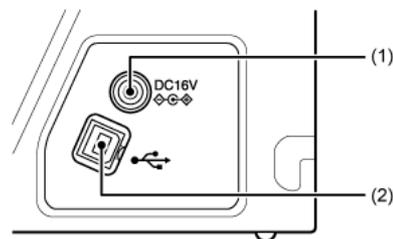
- (1) 前ユニット
内部に詰まった紙を取り除くときや、本体内部の清掃時、ローラーの交換時に開きます。
- (2) 排紙ポケット
スキャンされた原稿が排紙されます。
- (3) 給紙補助プレート
長い原稿をセットするときに引き出します。
- (4) 排紙サポート
長い原稿をセットするときに開きます。
- (5) 給紙サポート
セットした原稿を支えるために、引き出して使用します。
- (6) 給紙トレイ
スキャンするときに開き、原稿をセットします。
- (7) 電源ボタン
スキャナーの電源をオンまたはオフにします。

- (8) スタートボタン
給紙トレイにセットされた原稿のスキャンを開始します。
- (9) 給紙切り換え表示部
給紙切り換えレバーの位置に応じて、現在の給紙方法を示します。

レバーの位置	表示部の色
上 (非分離給紙)	白
下 (通常給紙)	黒

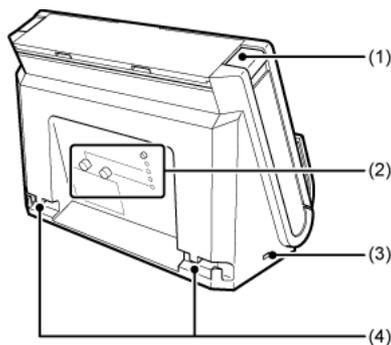
- (10) 給紙切り換えレバー
原稿の給紙方法を切り換えます。
- (11) コネクター部
AC アダプターや USB ケーブルを接続するためのコネクターがあります。
- (12) 排紙切り換えレバー
排紙方法を切り換えます。

■コネクター部



- (1) 電源コネクター
同梱の AC アダプターを接続します。
- (2) USB コネクター
同梱の USB ケーブルを接続します。

■背面



- (1) OPEN ボタン
前ユニットを開くときに押します。
- (2) Wi-Fi 機能設定部 (DR-C225W II のみ)
Wi-Fi 機能を使用した無線接続を設定・確認します。
- (3) ケンジントンスロット
盗難防止用のキーチェーンなどを接続します。
- (4) ケーブル固定用溝
スキャナーに接続したUSBケーブルや電源ケーブルを背面に固定します。ケーブルをコネクタ部の反対側に引き出すときに使用しません。

規制について

###HOME > 第 1 章 はじめに > 規制について ###

■ 国際エネルギースタートプログラムについて



当社は国際エネルギースタートプログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタートプログラムの基準に適合していると判断します。

■ 電波障害自主規制について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをして下さい。 VCCI-B

■ ご注意

- ・本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。
- ・本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- ・本書の内容については万全を期して作成しましたが、運用した結果の影響につきましては、前項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

■ 複製についてのご注意

以下のもの（全てを網羅している訳ではありません。）を本物と偽って使用する目的で複製（スキャン）すること、あるいは、複製（スキャン）によりその本物と紛らわしいものを作成すると、法律により罰せられることがあります。

- ・紙幣、銀行券（外国のものを含む）
- ・郵便切手、印紙、その他の金券
- ・株券、社債券、手形、小切手、定期券、回数券、乗車券、その他の有価証券
- ・公務員または役所が作成したパスポート、免許証、登記簿謄本その他の証明書や文書
- ・権利、義務もしくは事実証明に関する私人が作成する文書、図画
- ・役所または公務員の印影、署名または記号
- ・私人の印影または署名

■ 免責事項

本製品を用いて読み取る原稿、または読み取った画像イメージの保管や管理についてはお客様の責任で行ってください。

また、読み取った原稿を破棄する場合は、必ず、読み取り画像イメージをしっかりと精査し、欠落のないことを確認した上でお客様の責任において行ってください。

なお、当社が本製品に対して行う保証は、いかなる場合においても本製品の代金としてお客様が支払った金額を超えることはありません。予め、ご了承ください。

商標および登録商標について

###HOME > 第 1 章 はじめに > 商標および登録商標について ###

- Canon、Canon ロゴは、キヤノン株式会社の商標です。
- imageFORMULA は、キヤノン電子株式会社の商標です。
- Microsoft、Windows、PowerPoint および SharePoint は、米国マイクロソフト社の米国および他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- OS X および macOS は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- ISIS は、EMC Corporation. の米国における商標です。
- その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。なお、本文中には ™、® マークは明記していません。

Copyright © CANON ELECTRONICS INC. 2018 ALL RIGHTS RESERVED

第2章 安全にお使いいただくために

###HOME > 第2章 安全にお使いいただくために ###

本製品を安全にお使いいただくため、以下の項目についての注意事項を必ずお読みください。

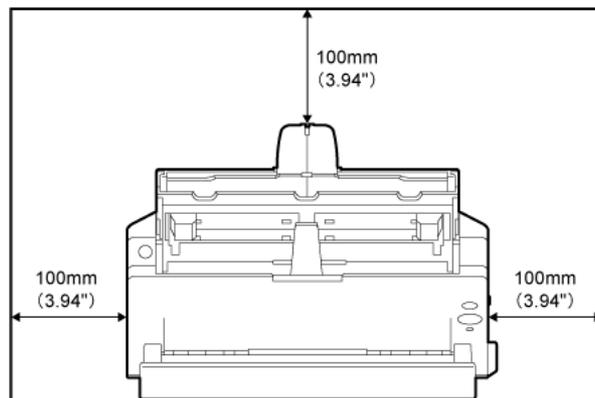
設置する場所について	8
AC アダプターについて	9
本製品の移動について	9
日常の取り扱いについて	10
廃棄する場合について	11
本製品を修理のために送付するときは	11

設置する場所について

###HOME > 第2章 安全にお使いいただくために > 設置する場所について ###

本製品の性能は、設置されている環境によって影響を受けることがあります。設置する場所が、次の環境条件に合っていることを確認してください。

- 本製品の周りには操作、保守、換気のためのスペースを十分確保してください。



- ストレート排紙で原稿をスキャンするときは、本機前方に読み取った原稿を排紙するためのスペースを十分確保してください。
- 直射日光が当たる場所は避けてください。やむをえない場合は、厚いカーテンなどで日光をさえぎってください。
- ほこりの多い場所は避けてください。ほこりは本体内部に悪影響を及ぼすことがあります。
- 水道の蛇口、湯沸器、加湿器など高温、多湿になる場所の近くや、アンモニアガス、シンナーなどが発生する場所は避けてください。
- 不安定な場所や、振動しやすい場所は避けてください。
- 温度が急激に変化する場所は避けてください。本体内部で結露が発生すると、品質低下の原因になります。以下の環境下でお使いください。

室温 10℃～32.5℃ (50°F～90.5°F)

湿度 25% (RH)～80% (RH)

- スピーカーやテレビ、ラジオなど磁気が発生する機器の近くは避けてください。

AC アダプターについて

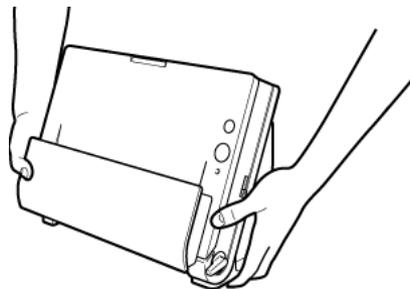
###HOME > 第 2 章 安全にお使いいただくために > AC アダプターについて ###

- 電源は必ず 100V のコンセントからとってください。
- 他の電気機器と同じコンセントを使用しないでください。また、延長コードを使う場合は、延長コードのアンペア数値に注意してください。
- AC アダプターの分解、改造は、危険ですので絶対に行わないでください。
- AC アダプターおよび電源コードの上に物を置いたり、踏みつけたりしないでください。
- 電源コードを束ねたまま使用しないでください。
- 電源コードを強く引っ張らないでください。電源プラグを抜くときは、電源プラグを持ち、そのまま抜いてください。
- 非常時に電源プラグが抜けるように、電源プラグの周りには物を置かないでください。
- 付属の AC アダプター以外は使用しないでください。また、付属の AC アダプターを他の製品に使用しないでください。
- 電源について不明な点があるときは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

本製品の移動について

###HOME > 第 2 章 安全にお使いいただくために > 本製品の移動について ###

- 本機を移動する場合は、本機を落とさないように必ず両手でしっかり持ってください。
- 本機を移動する場合は、インターフェイスクーブルや AC アダプターを、必ず外しておいてください。ケーブル類を付けたまま持ち運ぶと、無理な力が加わってプラグやコネクタが損傷することがあります。



日常の取り扱いについて

###HOME > 第2章 安全にお使いいただくために > 日常の取り扱いについて ###



警告

本製品をお使いになるときは、次の警告をお守りください。これらは火災や感電の原因になります。

- アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近くには設置しないでください。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工しないでください。また、重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げないでください。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
- タコ足配線をしないでください。
- 電源コードを結んだり、束ねたりしないでください。電源プラグは奥まで確実に差し込んでください。
- 同梱されている電源コードセットは本機専用です。本機以外の電気機器には使用できません。また、同梱されている電源コードセット以外の電源コードセットは、本機には使用しないでください。火災や感電の原因になります。
- 本機を分解したり、改造しないでください。
- ACアダプターの分解、改造は、危険ですので絶対に行わないでください。
- 本機の近くでは可燃性のスプレーを使用しないでください。
- 清掃の際は電源ボタンを押して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 本機の清掃には、水を含ませて固くしぼった布を使用してください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。
- 異常音、発煙、発熱、異臭があったり、電源を入れても機械が動かないなどの異常が発生した場合は、直ちに電源ボタンを押して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そして、お買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。
- 本機を落としたり、ぶつけたりして、強いショックを与えないでください。万一、本機が破損した場合は、直ちに電源ボタンを押して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そして、お買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。

- 本機を移動させる場合は、必ず電源ボタンを押して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。



注意

- ぐらついた台の上や傾いたところなどの不安定な場所や、振動の多い場所には設置しないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります。
- 本機の上には、クリップ、ステーブルの針、ネックレスなどの金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入ると火災や感電の原因になることがあります。万一、これらが本機の中に入ってしまった場合は、直ちに電源ボタンを押して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そしてお買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。
- 湿気やほこりの多い場所には設置しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 本機の上には物を載せないでください。置いたものが倒れたり、落下して、けがの原因になることがあります。
- AC100V以外の電源電圧で使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると、芯線の露出、断線などで、コードが傷つき、火災や感電の原因になることがあります。
- いつでも電源プラグが抜けるように、コンセントの周りには物を置かないでください。非常時に電源プラグが抜けなくなります。
- 本機の内部に、水や引火性溶剤（アルコール、シンナー、ベンジンなど）をこぼさないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 長時間で使用にならないときは、安全のため、必ずACアダプターのプラグを本体から抜き、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 本機を操作するときは、ゆったりとした服装を避け、装飾品など動作中の本機に引っかかりそうなものを身につけないでください。本機に巻き込まれてけがの原因になることがあります。特にネクタイや長い髪などはご注意ください。万一、巻き込まれた場合は、直ちに電源を切って機械を停止してください。
- 原稿をセットするときや、詰まった紙を取り除くときは、慎重に扱ってください。紙の端で手を切るなど、思わぬけがをすることがあります。

廃棄する場合について

###HOME > 第2章 安全にお使いいただくために > 廃棄する場合について ###

本製品を廃棄するときは、必ず法律およびその地域の条例に従って廃棄するか、お買い求めの販売店にご相談ください。

本製品を修理のために送付するときは

###HOME > 第2章 安全にお使いいただくために > 本製品を修理のために送付するときは ###

本製品の修理を依頼するときは、指定された送付先に本製品をお送りいただく必要があります。本製品の送付には、製品が入っていた梱包箱をご利用ください。また、梱包箱に入れるときに、本製品を梱包材でしっかりと固定していただくようお願いいたします。

第3章 ソフトウェアをインストールする

###HOME > 第3章 ソフトウェアをインストールする ###

本製品に付属のセットアップディスク (DVD) から、ソフトウェアをインストールする手順について説明します。

動作環境	12
セットアップディスクの内容.....	13
ソフトウェアのインストール.....	14

動作環境

###HOME > 第3章 ソフトウェアをインストールする > 動作環境 ###

本製品を快適にお使いいただくためには、次のシステム要件を推奨します。

- コンピューター
 - ・ CPU : Intel Core 2 Duo 1.66GHz 以上 **Windows**
Intel Core i7 2.3GHz 以上 **Mac**
 - ・ メモリー : 1GB 以上 **Windows**
8GB 以上 **Mac**
 - ・ ハードディスク : すべてのソフトウェアをインストールするために、3GB 以上の空き容量
 - ・ USB インターフェイス : Hi-Speed USB2.0
 - ・ モニター : 解像度 1024×768 (XGA) 以上
 - ・ 光学ドライブ : CD/DVD の読み取りが可能なドライブ **Windows**
- オペレーティングシステム
 - ・ Microsoft Windows 7 Service Pack 1 以上 (32 ビット版 /64 ビット版)
 - ・ Microsoft Windows 8.1 (32 ビット版 /64 ビット版)
 - ・ Microsoft Windows 10 (32 ビット版 /64 ビット版)
 - ・ Microsoft Windows Server 2008 R2 Service Pack 1 以上
 - ・ Microsoft Windows Server 2012 R2
 - ・ Microsoft Windows Server 2016
 - ・ OS X 10.11*
 - ・ macOS 10.12
 - ・ macOS 10.13

2018年5月現在の環境です。

最新のソフトウェアサポート状況はキャノンホームページの製品ページをご参照ください。

* DR-C225W II に同梱している無線接続用アプリケーションソフトウェア「NetworkMonitor」、「無線接続セットアップツール」は Mac OS 10.10.x または 10.12.2 以降の OS でご使用ください。上記以外の OS には対応していません。

なお、10.12.2 以降をご使用の場合は、下記のバージョン以降のソフトウェアをご使用ください。

NetworkMonitor: 1.4.0.342

無線接続セットアップツール: 1.4.0.30

- その他
 - ・ 上記のシステム環境で正常に動作する ISIS 互換アプリケーションソフトウェア (Windows のみ) または TWAIN 互換アプリケーションソフトウェア
 - ・ .NET Framework 4.0 以降 (Windows のみ)



お願い

- USB インターフェイスは、コンピューターに標準装備された USB ポートを使用してください。ただし、コンピューターに標準装備されたすべての USB インターフェイスにおいて、動作を保証するものではありません。詳細についてはお買い求めの販売店にお問い合わせください。
- コンピューターに標準装備された USB インターフェイスが USB Full-Speed (USB1.1 相当) の場合、スキャン速度が低下します。
- USB ケーブルは、同梱品をお使いください。
- CPU、メモリー、インターフェイスカードなど、コンピューターの推奨仕様を満たさない場合は、スキャン速度が大幅に低下したり、転送速度に時間を要する場合があります。
- コンピューターのシステム要件を満たしている場合でも、コンピューターの仕様・環境や読み取りの設定によっては、スキャン速度が低下する場合があります。
- 同梱されているスキャナードライバーは、すべての ISIS 互換アプリケーションソフトウェアまたは TWAIN 互換アプリケーションソフトウェアで動作するとは限りません。詳細についてはアプリケーションソフトウェアの販売元にお問い合わせください。
- Windows 10 のタブレットモードでは、ソフトウェアの表示が乱れることがあります。
- Windows Server 2008 R2、Windows Server 2012 R2 では、デスクトップ エクスペリエンス機能を有効にする必要があります。

64 ビット版オペレーティングシステムで使用する場合の注意事項 (Windows のみ)

- 本製品の ISIS/TWAIN ドライバーでのスキャンが可能なのは 32 ビット版アプリケーションに限られます。
- 32 ビット版アプリケーションでも、すべての ISIS/TWAIN 互換アプリケーションでの動作を保証するものではありません。
- 使用するコンピューターの仕様によっては、スキャン速度が遅くなる場合があります。

セットアップディスクの内容

###HOME > 第3章 ソフトウェアをインストールする > セットアップディスクの内容 ###

同梱されているセットアップディスクから、スキャナーを使用するために必要となる次のソフトウェアをインストールします。

- CaptureOnTouch
本製品専用のスキャニングユーティリティです。
- スキャナードライバー
本製品のスキャナードライバーです。
- 無線接続セットアップツール (DR-C225W II のみ)
本製品の Wi-Fi 機能を使用して、コンピューターに接続するための設定を行うユーティリティです。
- NetworkMonitor (DR-C225W II のみ)
ネットワーク上のスキャナーを自動的に接続するユーティリティです。別のデバイスからスキャナーに接続する際には、自動的に切断/再接続を行います。

クラウドサービスを利用するソフトウェアについて

本製品のバンドルソフトウェアの一部は、その機能の一部またはすべてを利用するために、クラウドサービスのアカウントの取得が必要となります。

ソフトウェア	利用するクラウドサービス
CaptureOnTouch plug-in for Google ドライブ	Google ドライブ
CaptureOnTouch plug-in for Dropbox	Dropbox
CaptureOnTouch plug-in for SugarSync	SugarSync
CaptureOnTouch plug-in for Microsoft OneDrive	Microsoft OneDrive

アカウントの取得には、利用規約への同意が求められます。詳しくは、各クラウドサービスの提供会社のホームページなどを参照してください。

なお、上記のソフトウェアは、アカウントがなくてもインストールのみは可能です。

ソフトウェアのインストール

###HOME > 第3章 ソフトウェアをインストールする > ソフトウェアのインストール ###

→ Windows

→ Mac

Windows



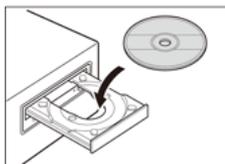
お願い

ソフトウェアのインストールは、本製品とコンピューターを接続する前に行ってください。

- Administrator 権限のアカウントでログオンしてください。
- ほかのアプリケーションをすべて終了させてからソフトウェアをインストールしてください。

- 1 ソフトウェアセットアップディスクをコンピューターのディスクドライブにセットします。

自動的にセットアップメニューが起動します（起動しないときは、ディスク内の setup.exe を実行してください）。



次の画面が表示されたら [はい] または [許可] をクリックしてください。



- 2 [おまかせインストール] をクリックします。



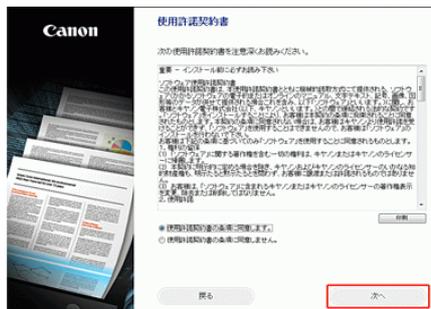
お願い

アンインストールしたソフトウェアを再インストールするときは、「選んでインストール」をクリックし、アンインストールしたソフトウェアを指定してください。

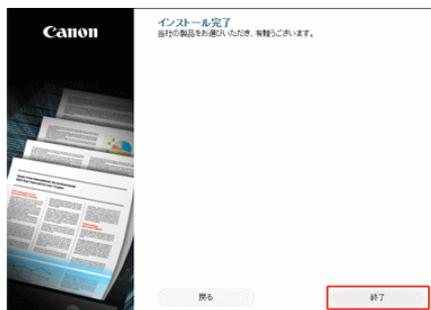
3 [インストール] をクリックします。



4 画面の指示に従ってインストールを完了させます。



5 [終了] をクリックしてソフトウェアのインストールを終了します。



※ Windows の最新版ソフトウェアはウェブサイトよりダウンロードください。(URL は同梱の別紙をご参照ください。)

Mac



お願い

ソフトウェアのインストールは、本機とコンピューターを接続する前に行ってください。

- ほかのアプリケーションをすべて終了させてからソフトウェアをインストールしてください。

1 ウェブサイトからソフトウェアのインストーラー (dmg ファイル) をダウンロードしてください。スキャナードライバーと CaptureOnTouch それぞれのインストーラーがあります。

※ URL は同梱の別紙をご参照ください。

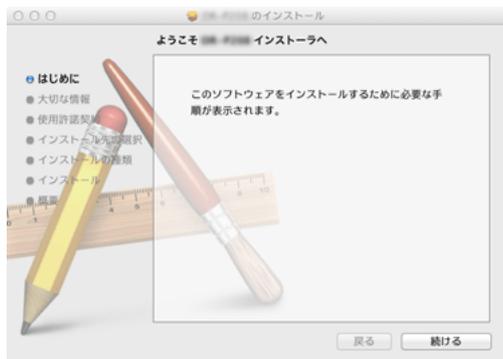
2 ダウンロードした dmg ファイルをダブルクリックし、インストーラーを起動してください。

3 スキャナードライバーの場合は、[DR-C225 Installer.pkg] をクリックします。

※ CaptureOnTouch の場合は、[CaptureOnTouch Installer.pkg] をクリックします。



4 画面の指示に従ってインストールを完了させます。



5 [ログアウト]をクリックしてソフトウェアのインストールを終了します。



メモ

本機を無線接続で使用するためには、上記の手順 2 の画面で [Canon NetworkMonitor インストーラー] をダブルクリックし、画面の指示に従ってソフトウェア(無線接続セットアップツールと NetworkMonitor)をインストールしてください。

インストール後に、コンピューターの再起動が必要です。再起動後、『Wi-Fi 接続ガイド』(セットアップディスクに収録)に従って無線設定を行ってください。

第4章 スキャナーを接続する

###HOME > 第4章 スキャナーを接続する ###

本製品をコンピューターに接続します。

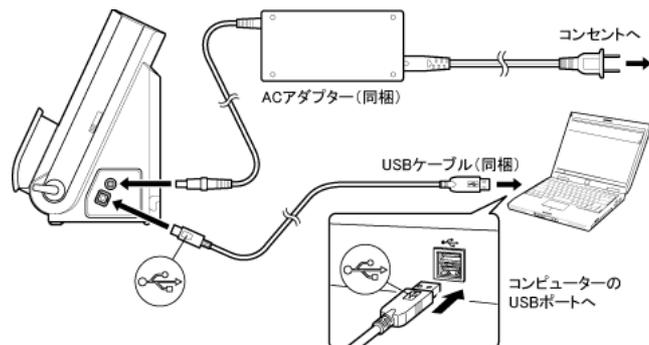
コンピューターと接続する 17

電源を入れる 18

コンピューターと接続する

###HOME > 第4章 スキャナーを接続する > コンピューターと接続する ###

本機をコンピューターと電源に接続します。



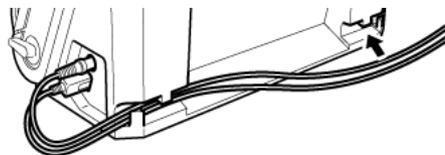
お願い

- ソフトウェアをインストールする前にスキャナーをコンピューターに接続しないでください。
- コンピューターと接続する前に本機の電源がオフになっていることを必ず確認してください。電源がオンになっているときは、オフにしてください。



メモ

ケーブル類は本体背面に固定できます。このとき、コネクタ部に負荷がかからないように、ケーブルに充分たるみを持たせてください。

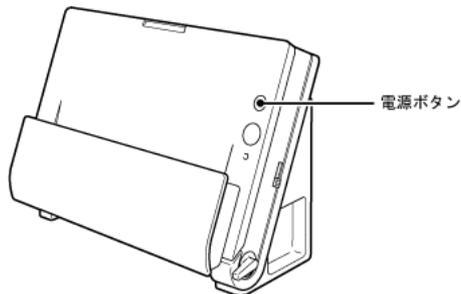


電源を入れる

###HOME > 第4章 スキャナーを接続する > 電源を入れる ###

本機の電源は、正面の電源ボタンで操作します。

- 1 本機とコンピューターの接続を確認します。
- 2 電源ボタンを押します。



電源が入ると、電源ボタンが青色に点灯します。



Windows

初めて本製品の電源を入れたときには、Windows のタスクバーに次のようにバルーンが表示されます。しばらく待つと自動的にスキャナーの認識が終了し、本製品が使用できるようになります。



スキャナーがコンピューターに正常に接続されているときは、タスクバーの  (CaptureOnTouch) アイコンが次のように表示されます。

Windows



Mac



タスクバーのアイコンの表示が  または  になっているときは、スキャナーが正常にコンピューターに接続されていません。スキャナーの電源と USB ケーブルの状態を確認してください。

電源を切るには

電源ボタンを、消灯するまで押し続けます。



お願い

- 本機の電源を入れ直すときは、電源を切った後で 10 秒以上待つてから電源を入れてください。
- 長時間ご使用にならないときは安全のため、必ず電源をオフにして電源プラグをコンセントから抜いてください。



メモ

出荷時は、スキャンなどの操作をしないまま 4 時間経過すると自動的に電源が切れる設定がオンになっています。

この設定を無効にするには、自動電源オフ設定 (P.93) の手順をご覧ください。

第5章 原稿をセットする

###HOME > 第5章 原稿をセットする ###

原稿のセット方法について説明します。

原稿について.....	20
給紙・排紙方法の切り替えについて.....	22
通常給紙でセットする.....	22
非分離給紙でセットする.....	25
カードをセットする.....	26
半折り原稿をセットする.....	27
長尺モードの設定.....	29

原稿について

###HOME > 第5章 原稿をセットする > 原稿について ###

本機は、名刺などの大きさから A4 サイズまでの原稿を読み取ることができます。読み取ることができる原稿の大きさは以下のとおりです。

普通紙

サイズ

幅 : 50.8 ~ 216mm (2" ~ 8.5")

長さ : 53.9 ~ 356mm (2.12" ~ 14")*

紙厚

Uターン排紙時 : 52 ~ 128 g/m² (0.06 ~ 0.15 mm (0.0024" ~ 0.0059"))

ストレート排紙時 : 40 ~ 209 g/m² (0.05 ~ 0.25 mm (0.002" ~ 0.0098"))

* スキャナー本体の設定を長尺モードに設定することにより、最大3,000mm (118.1") までの原稿をスキャンすることができます。長尺モードについて詳しくは「長尺モードの設定」(P.29) を参照してください。

最大積載枚数

約 30 枚 (80g/m² 紙)

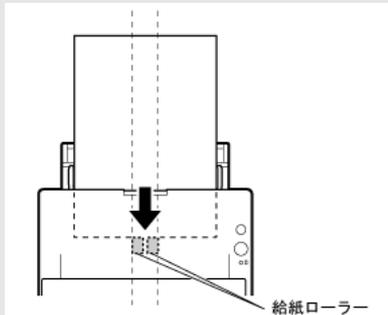
積載高さ 6mm まで



お願い

読み取る原稿には一定の基準があります。次の項目をよくお読みください。

- 複数枚のサイズが異なる原稿を一度に読み取るときは、原稿が給紙ローラーの全幅にかかるようにセットしてください。



- 356mm (14") を超える原稿は、1 枚給紙を推奨します。
- 長さ 70 mm (2.76") 以下の原稿はストレート排紙でスキャンしてください。
- インクが乾いていない原稿は、ローラーや読み取りガラスを汚し、画像にすじが入る原因になったり、他の原稿を汚す原因になります。必ず乾かしてから読み取りを行ってください。
- 鉛筆などで書かれた原稿は、ローラーや読み取りガラスを汚し、画像にすじが入る原因になったり、他の原稿を汚す原因になります。このような原稿を読み取ったあとは、スキャナーの内部を清掃してください。
- 薄い紙の両面原稿を読み取る場合、読み取ったときに裏写りすることがあります。あらかじめアプリケーションソフトウェアで読み取る明るさを調整してから実行してください。
- 薄い紙は、1 枚給紙を推奨します。

次のような原稿を読み取ろうとすると、紙づまりや故障の原因になりますのでご注意ください。このような原稿を読み込むときは、複写機でコピーしてから読み取ってください。



しわや折り目が入っている。



カーボン紙。



カール（巻き付け）がある。



表面がコーティングされている。



破れている。



半透明の薄紙など極端に薄い。



クリップやステープルの針が付いている。



紙粉が出やすい紙

名刺

サイズ	幅 50.8mm (2") × 長さ 53.9mm (2.12") 以上
紙厚	300g/m ² (0.35mm (0.0138")) 以下
挿入方向	縦送りのみ



お願い

名刺の束をセットして正常に搬送できない場合は、セットする名刺の枚数を減らしてください。

カード（プラスチック製）

サイズ	53.9mm (2.12") × 85.5mm (3.37") (ISO/JIS 規格準拠)
カード厚	0.76mm (0.03") 以下、エンボス部は 1.4mm (0.055") 以下
挿入方向	横送りのみ
排紙方法	ストレート排紙のみ
エンボス付き	可能



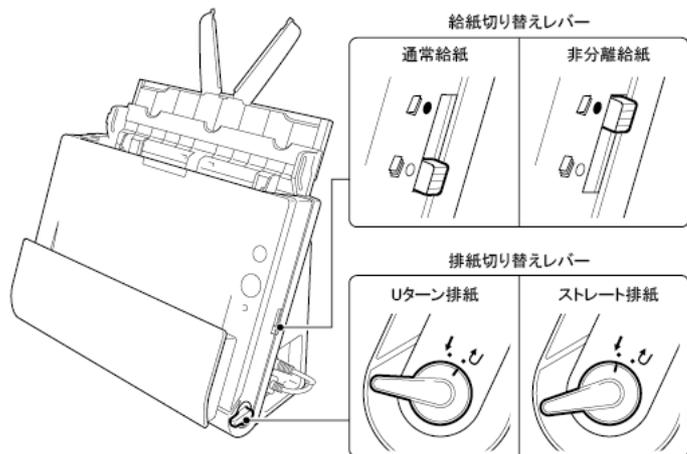
注意

- カードはストレート排紙でスキャンしてください。
- カードを縦方向にセットすると搬送時にカードに負荷がかかり、正常に排出されない場合があります。また、エラーになったカードを取り除くときは、カードが損傷することがありますので、カードをセットするときは十分注意してください。
- エンボス付きのカードは、エンボスの状態によっては適切な画像が得られない場合があります。

給紙・排紙方法の切り替えについて

###HOME > 第5章 原稿をセットする > 給紙・排紙方法の切り替えについて ###

スキャンする原稿の種類に応じて、スキャナーの2つのレバーを操作して給紙および排紙方法を切り替えます。



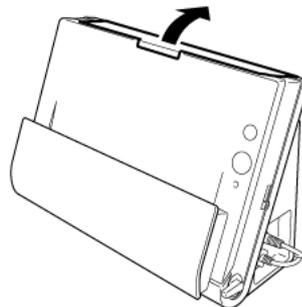
原稿の種類ごとの給紙および排紙方法と、各レバーの位置は下記のとおりです。

原稿の種類	給紙方法 (レバー位置)	排紙方法 (レバー位置)
普通紙、名刺	通常給紙 (下)	Uターン排紙 (上) またはストレート排紙 (下)
カード、厚紙、薄い紙、綴じた紙	非分離給紙 (上)	ストレート排紙 (下)

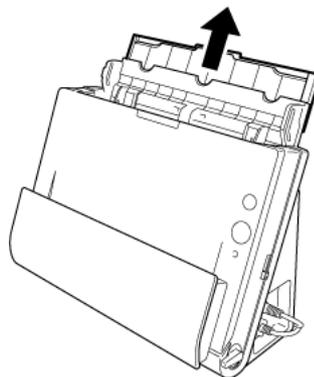
通常給紙でセットする

###HOME > 第5章 原稿をセットする > 通常給紙でセットする ###
複数枚の普通紙の原稿をまとめてスキャンするときなど、通常は通常給紙でスキャンします。通常給紙では、複数枚の原稿を1枚ずつ分離しながら給紙します。

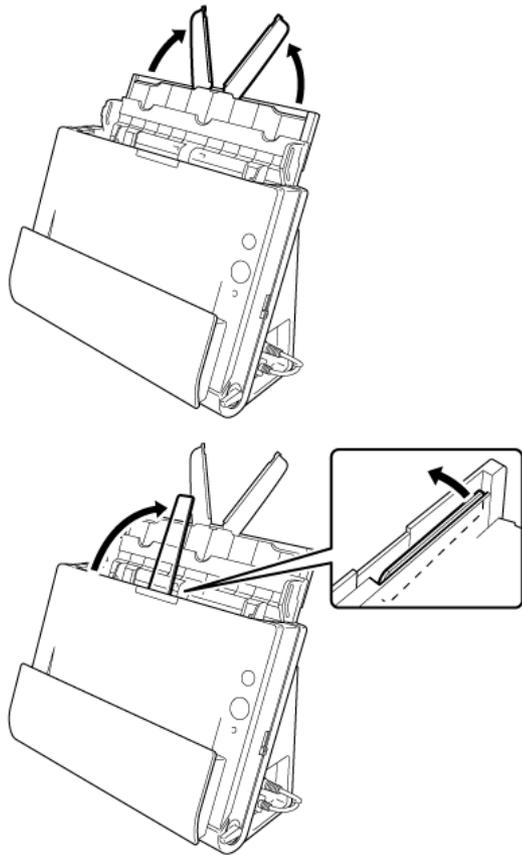
- 1 給紙トレイを開きます。



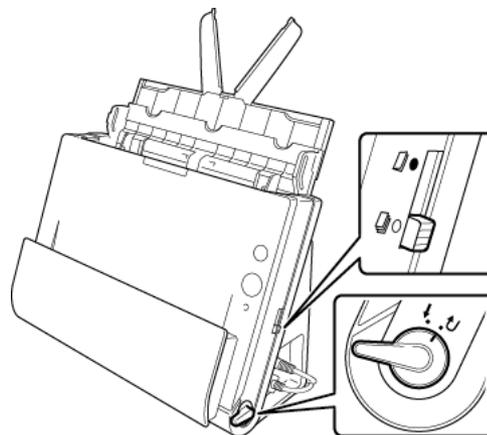
- 2 給紙サポートを引き出します。



- 3 長い原稿をスキャンするときなど、必要に応じて給紙補助プレートと排紙サポートを引き出します。

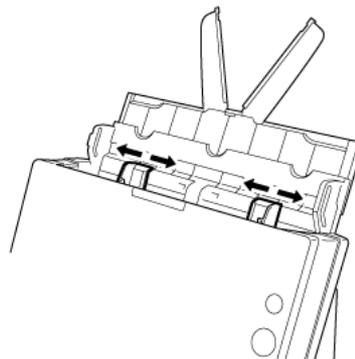


- 4 給紙切り替えレバーと排紙切り替えレバーをセットします。
給紙切り替えレバーは、通常給紙の位置（下側）にセットします。
排紙切り替えレバーは、Uターン排紙の位置（）にセットします。



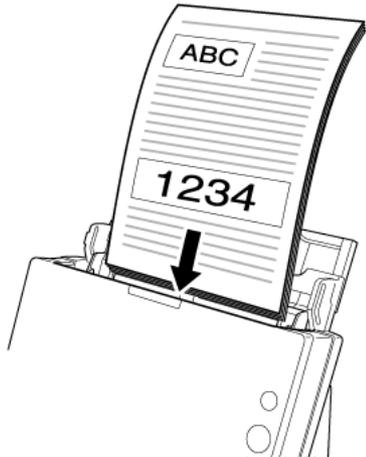
カードと普通紙が混在した原稿は、ストレート排紙でスキャンしてください。

- 5 読み取る原稿の幅に原稿ガイドを合わせます。

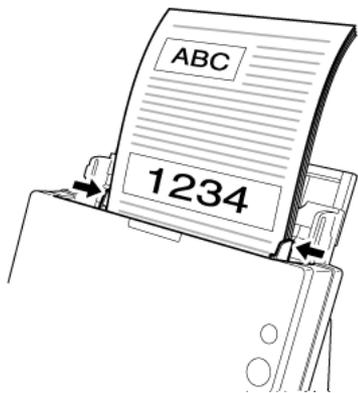


6 原稿をセットします。

原稿のおもて面を手前に向け、上部を上に向けて給紙トレイに挿入します。



原稿を給紙口に挿入したら、原稿ガイドを原稿の両端に合わせます。

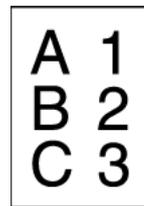


お願い

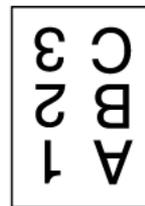
- 原稿をセットするときは慎重に扱ってください。紙の端で手を切るなど思わぬけがをすることがあります。

- 一度にセットする原稿の枚数が、原稿ガイドの積載制限マーク(▼)を超えないようにしてください。一般的なコピー用紙(80 g/m²)で約30枚までです。
- 原稿をセットする前に、クリップやステーブルの針などが紛れ込んでいないか、必ず確認してください。万一、これらが紛れ込んでいると、大事な原稿が破れたり、紙づまりが発生するなど、本機の故障の原因になります。
- 本機を操作するときは、ゆったりとした服装を避け、装飾品など動作中の本機に引っ掛かりそうなものを身につけないでください。本機に巻き込まれて、けがの原因になることがあります。特にネクタイや長い髪などにご注意ください。万一、巻き込まれた場合は、直ちに電源ケーブルを本体から抜いて本機を停止してください。
- 原稿の先端がカールしていると原稿が折れたり、紙づまりの原因になります。カールが大きい場合は、カールを矯正してから本機にセットしてください。
- 読み取り中に、システムエラーまたは紙づまりによって給紙が停止した場合は、処理をしたあと、給紙している原稿の最後のページが正しく記録されていることを確認してから読み取り作業を続けてください。
- 読み取りが終了し、スキャナーを使用しないときは、本機の損傷を防ぐために給紙トレイを閉じてください。
- 分離給紙とストレート排紙の組み合わせでのスキャンはできませんが、この場合に複数枚の原稿をスキャンすると逆順に排紙されます。
- スキャナードライバーの設定で「原稿の上側を下に向けてセット」をオンにすることで、スキャナーにセットする原稿の向きを逆にすることができます(「原稿の上側を下に向けてセットしてスキャンしたい」(P.73))。

デフォルト



「原稿の上側を下に向けてセット」をオン



非分離給紙でセットする

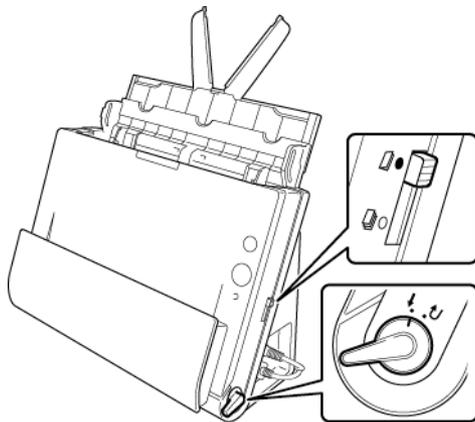
###HOME > 第 5 章 原稿をセットする > 非分離給紙でセットする
###

厚い原稿を 1 枚ずつスキャンするときや、複数枚綴りの原稿を綴じたままスキャンするときは、原稿を非分離給紙でセットします。枚数にかかわらず、セットされた原稿を分離せずにスキャンします。

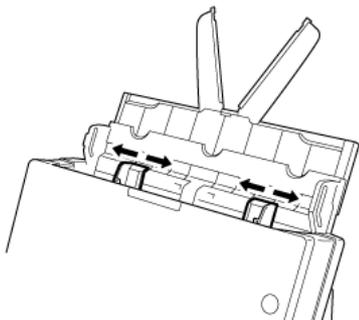
1 給紙切り替えレバーと排紙切り替えレバーをセットします。

給紙切り替えレバーは、非分離給紙の位置（上側）にセットします。このとき給紙切り替え表示部が白色になります。

排紙切り替えレバーは、ストレート排紙の位置（)にセットします。



2 原稿ガイドを原稿の幅に合わせます。

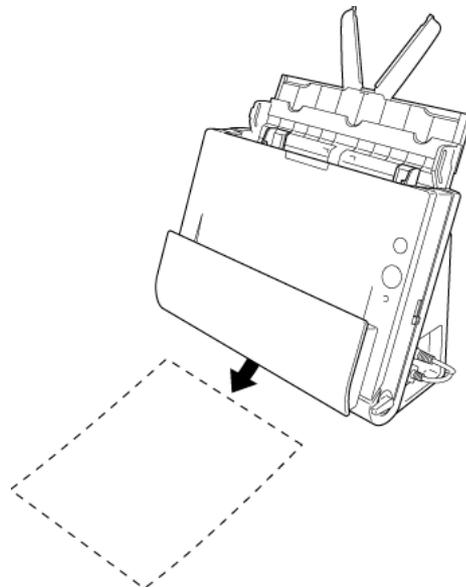


3 原稿を給紙トレイにセットします。



お願い

- ストレート排紙の場合、スキャナーの手前に原稿が排紙されます。排紙口の近くに、排紙の妨げになるようなものを置かないでください。また、原稿がスムーズに排紙されるよう、スキャナーは平滑な面に設置してください。



- 複数枚綴りの原稿（伝票など）は、綴じしろを下に向けて給紙トレイに挿入してください。

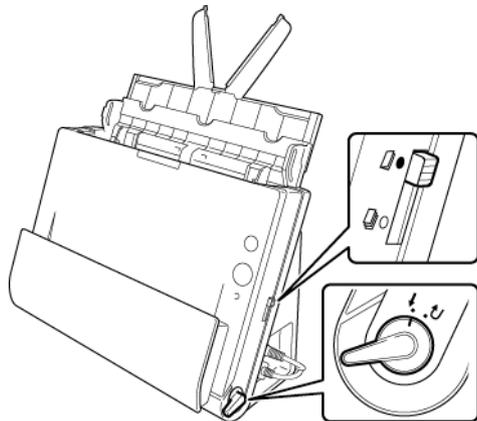
カードをセットする

###HOME > 第5章 原稿をセットする > カードをセットする ###

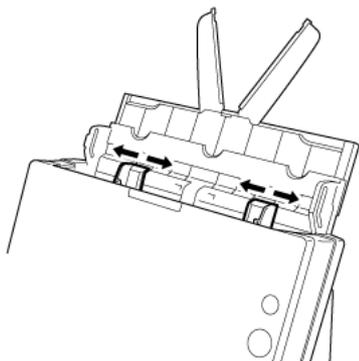
1 給紙切り替えレバーと排紙切り替えレバーをセットします。

給紙切り替えレバーは、非分離給紙の位置（上側）にセットします。このとき給紙切り替え表示部が白色になります。

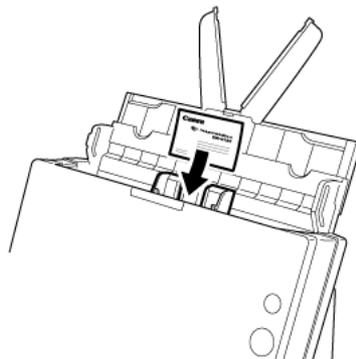
排紙切り替えレバーは、ストレート排紙の位置（)にセットします。



2 読み取るカードの幅に原稿ガイドを合わせます。

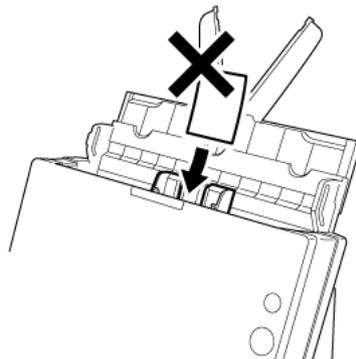


3 カードを横向きにし、上端を上にしてセットします。



お願い

- カードは 1 枚ずつセットしてください。
- カードを縦方向にセットすると搬送時にカードに負荷がかかり、正常に排出されない場合があります。また、エラーになったカードを取り除くときは、カードが損傷することがありますので、カードをセットするときは十分注意してください。

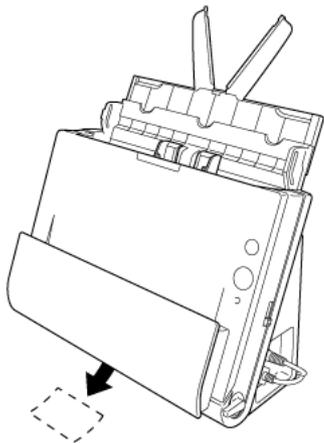


- カードのスキャン時は、超音波での重送検知が誤作動します。[搬送]タブの[超音波で検知] チェックボックスをオフにしてください。



お願い

ストレート排紙の場合、スキャナーの手前に原稿が排紙されます。排紙口の近くに、排紙の妨げになるようなものを置かないでください。また、原稿がスムーズに排紙されるよう、スキャナーは平滑な面に設置してください。



半折り原稿をセットする

###HOME > 第 5 章 原稿をセットする > 半折り原稿をセットする ###

給紙口にセットすることができないA4サイズより大きい原稿を読み取る方法として「半折りスキャン」があります。半折りスキャンでは、原稿を半折りにしてセットし、半折り原稿の両面を読み取ってできた表裏の画像を1つの画像に合成します。

1 給紙切り替えレバーと排紙切り替えレバーをセットします。

給紙切り替えレバーは、非分離給紙の位置（上側）にセットします。このとき給紙切り替え表示部が白色になります。

排紙切り替えレバーは、ストレート排紙の位置（）にセットします。

2 原稿を2つに折ります。

原稿の左右を揃え、折り目をしっかりつけてください。原稿の折り方によっては、紙詰まりが発生したり、合成後のスキャン画像にずれが生じることがあります。

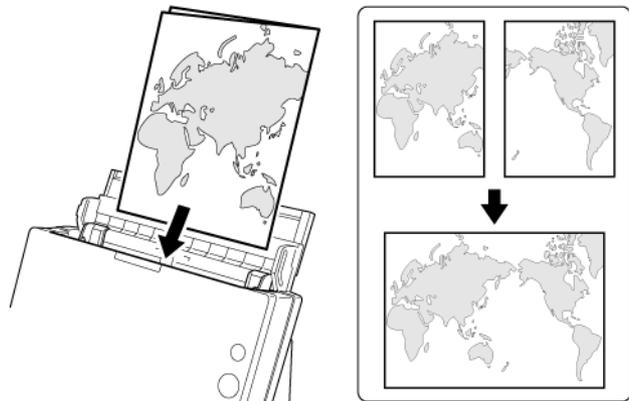


お願い

折り目の部分は、スキャン画像の一部が欠落します。

3 原稿を給紙トレイにセットします。

デフォルトでは折り目を右に向けてセットします。スキャナードライバーの設定で「原稿の上側を下に向けてセット」をオンにしたときは、折り目を左に向けてセットしてください。



お願い

原稿ガイドは原稿の幅に合わせてください。原稿ガイドの位置が広がっていると斜行、画像のズレの原因になります。



メモ

- 半折り原稿の手前の面が、合成された画像の左半分になります。
- 合成される画像は最大 A2 サイズの画像です。

スキャン条件の設定

半折り原稿をスキャンするときは、次のようにスキャン条件を設定してください。



メモ

半折り原稿の条件設定は、スキャナードライバーの詳細設定ダイアログボックスで行ってください。CaptureOnTouch では設定できません。

スキャナードライバー (Windows)

[基本] タブで次のように設定します。(→ P.59)

- [用紙サイズ] を原稿の半分のサイズ (非定型の原稿をスキャンするときは [原稿のサイズに合わせる]) に設定
- [読み取り面] を [半折り] に設定

スキャナードライバー (OS X/macOS) (→ P.61)

次のように設定します。

- [用紙サイズ] を原稿の半分のサイズ (非定型の原稿をスキャンするときは [自動で検知する]) に設定
- [読み取り面] を [半折り] に設定

長尺モードの設定

###HOME > 第5章 原稿をセットする > 長尺モードの設定 ###

本機でスキャンすることができる原稿の長さは、標準で 356mm (14") までですが、長尺モードに設定すると最大 3,000mm (118.1") までの原稿をスキャンすることができます。



お願い

長尺モードに設定したときは、以下の項目に注意してください。

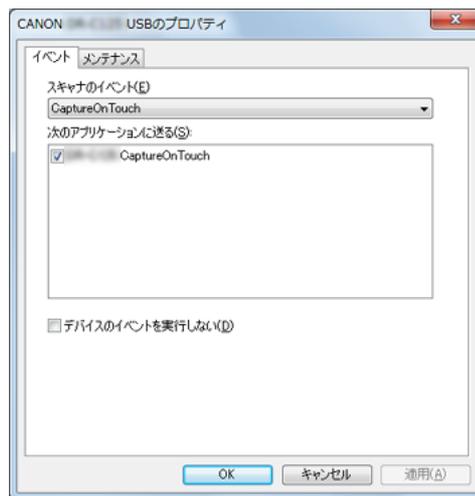
- 長尺原稿をスキャンするときに原稿が傾いてセットされると、本機の給紙部の両端に当たり、原稿が破損することがあります。原稿の傾きには十分注意してください。
- 長尺原稿をスキャンすると、紙づまりの検知が遅れて原稿が破損することがあります。紙づまりには十分注意してください。
- 長尺原稿をスキャンするときは、必ず給紙切り替えレバーを「非分離給紙」に切り替えて1枚ずつスキャンしてください。
- 長尺モードでサイズの大きな原稿をスキャンすると、スキャンに時間がかかることがあります。また、メモリー不足によってエラーが発生し、スキャンできなくなることがあります。
- 長尺モードでのスキャンは、USB 接続時のみ使用できます。

Windows

- 1 Windows を起動し、管理者権限を持つユーザーとしてログオンします。
- 2 スタートボタンをクリックし、[すべてのプログラム]、[Canon DR-C225]、[Canon imageFORMULA ユーティリティ] の順にクリックします。
imageFORMULA ユーティリティが起動します。



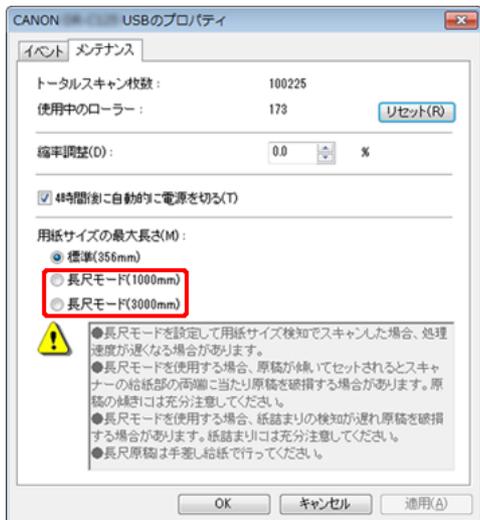
- 3 [CANON DR-C225 USB] をクリックし、[プロパティ] をクリックします。



(機種によっては、[イベント] タブは表示されません。)

4 [メンテナンス] タブをクリックし、長尺モードを指定します。

原稿の長さに応じて [長尺モード (1000mm)] または [長尺モード (3000mm)] を選択してください。



5 [OK] をクリックします。

スキャン条件の設定

長尺モードで原稿をスキャンするときは、次のようにスキャン条件を設定してください。

CaptureOnTouch

スキャナーの設定で [用紙サイズ] を [原稿のサイズに合わせる] に設定します (→ P.46)。

スキャナードライバー

[基本] タブの [用紙サイズ] を [原稿のサイズに合わせる] に設定します (→ P.59)。

Mac

1 スキャナードライバーの設定画面を開きます。→「スキャンモードの設定」(P.46)

2 [詳細設定ダイアログボックスを使う] を有効にしてから、[設定] ボタンをクリックします。 スキャナードライバーの設定画面が開きます。

3 ⓘ (情報ボタン) をクリックします。 [スキャナーの情報] ダイアログボックスが開きます。



4 [メンテナンス] をクリックします。 [メンテナンス] ダイアログボックスが開きます。

5 長尺モードを指定します。 原稿の長さに応じて [長尺 (1000mm)] または [長尺 (3000mm)] を選択してください。



6 をクリックしてダイアログボックスを閉じます。

スキャン条件の設定

長尺モードで原稿をスキャンするときは、次のようにスキャン条件を設定してください。

CaptureOnTouch

スキャナーの設定で [用紙サイズ] を [原稿のサイズに合わせる] に設定します (→ P.46)。

スキャナードライバー

[用紙サイズ] を [自動で検知する] に設定します (→ P.61)。

第6章 CaptureOnTouchでスキャンする

###HOME > 第6章 CaptureOnTouchでスキャンする ###
CaptureOnTouchでスキャンする手順について説明します。

CaptureOnTouchとは.....	31
CaptureOnTouchの起動と終了.....	32
スキャナーの選択.....	34
画面の説明.....	35
3ステップスキャン.....	36
お気に入りスキャン.....	38
スタートボタンによるスキャン.....	43
スキャン画像編集画面の操作.....	43
スキャンモードの設定.....	46
出力先の設定.....	48
お気に入りの設定.....	50
ファイル形式について.....	50
環境設定.....	52

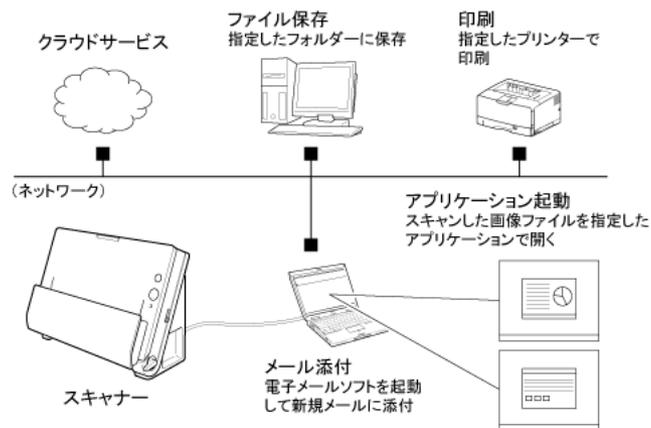
CaptureOnTouchとは

###HOME > 第6章 CaptureOnTouchでスキャンする > CaptureOnTouchとは ###

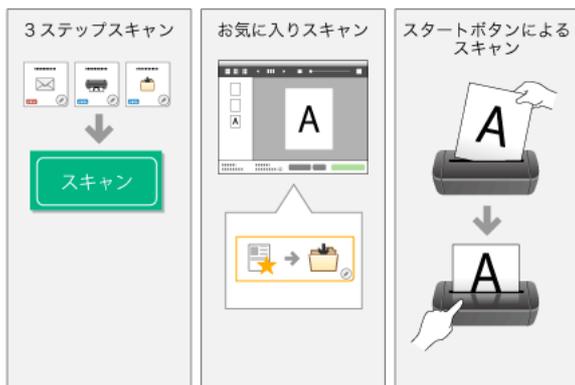
CaptureOnTouchは、画面のパネルを選択するだけの簡単な操作で原稿をスキャンできるスキャンングアプリケーションです。



CaptureOnTouchには、目的や用途に応じて使い分けることが可能な複数のスキャン方法が用意されています。



CaptureOnTouch には、以下のスキャン方法があります。



3ステップスキャン

スキャンモードパネルと出力先パネルをクリックし、[スキャン] ボタンをクリックすると原稿がスキャンされます。原稿の種類や使用目的に応じたスキャン方法を選択してスキャンすることができます。

→ 「3ステップスキャン」(P.36)

お気に入りスキャン

よく使うスキャンモードと出力方法の組み合わせを一つの「お気に入り」としてあらかじめ登録しておくことができます。お気に入りパネルをクリックするだけでスキャンを実行できます。

→ 「お気に入りスキャン」(P.38)

スタートボタンでスキャン

スキャナーのスタートボタンにはあらかじめ「お気に入りスキャン」が割り当てられています。原稿をセットしてスタートボタンを押すとスキャンが開始されます。任意のお気に入りをスタートボタンに割り当てることもできます。

→ 「スタートボタンによるスキャン」(P.43)

CaptureOnTouch の起動と終了

###HOME > 第6章 CaptureOnTouchでスキャンする > CaptureOnTouchの起動と終了 ###

デフォルトでは、コンピューターを起動したときに CaptureOnTouch がシステムに常駐します。

Windows



タスクバーの  (CaptureOnTouch アイコン) をクリックし、表示されるメニューの [CaptureOnTouch を開く] をクリックすると、CaptureOnTouch が起動し、メインウィンドウが表示されます。



メモ

- スタートメニューからも起動できます。[スタート] - [すべてのプログラム] - [CaptureOnTouch] - [CaptureOnTouch V4] の順にクリックしてください。
- [環境設定] ダイアログボックスの [基本設定] タブで [CaptureOnTouch を常駐する] をオンにしていると、スキャナーのスタートボタンを押してからスキャンが開始するまでの時間が短くなります。詳細は「環境設定」(P.52) を参照してください。

Mac



メニューバーの  (CaptureOnTouch アイコン) をクリックし、表示されるメニューの [CaptureOnTouch を起動する] をクリックすると、CaptureOnTouch が起動し、メインウィンドウが表示されます。



メモ

- 【環境設定】ダイアログボックスの【基本設定】タブで【CaptureOnTouch を常駐する】をオンにしていると、スキャナーのスタートボタンを押してからスキャンが開始するまでの時間が短くなります。詳細は「環境設定」(P.52)を参照してください。

終了するには

Windows

CaptureOnTouch のメインウィンドウを閉じるには、ウィンドウ上部のをクリックします。この場合、メインウィンドウは閉じますが、システムへの常駐は保持されます。

CaptureOnTouch の常駐を終了するには、タスクバーの (CaptureOnTouch アイコン) をクリックし、メニューの【終了】をクリックします。



システムへの常駐が終了し、タスクバーのアイコンがなくなります。

Mac

CaptureOnTouch のメインウィンドウを閉じるには、ウィンドウ上部のをクリックします。この場合、メインウィンドウは閉じますが、システムへの常駐は保持されます。

CaptureOnTouch の常駐を終了するには、メニューバーの (CaptureOnTouch アイコン) をクリックし、メニューの【終了】をクリックします。



再起動するには

システムへの常駐の終了後に CaptureOnTouch を使用するときは、次のいずれかの手順で再起動してください。CaptureOnTouch が起動してシステムに再度常駐します。

Windows

- [スタート] - [すべてのプログラム] - [CaptureOnTouch] - [CaptureOnTouch V4] の順にクリックする
- スキャナーのスタートボタンを押す(この場合は CaptureOnTouch のメイン画面が開き、スタートボタンに割り当てられたスキャン方法でスキャンが開始します。)



メモ

Windows 8.1 では以下の場所に登録されています。



Mac

- Finder で [移動] - [アプリケーション] - [CaptureOnTouch] をダブルクリックする
- スキャナーのスタートボタンを押す(この場合は CaptureOnTouch のメイン画面が開き、スタートボタンに割り当てられたスキャン方法でスキャンが開始します)

スキャナーの選択

###HOME > 第6章 CaptureOnTouchでスキャンする > スキャナーの選択 ###

CaptureOnTouch のスキャナー選択方法について説明します。



Windows

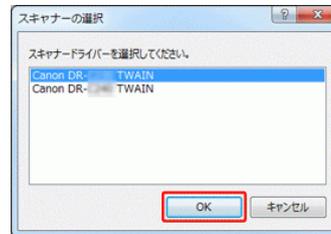
- 1 タスクバーの (CaptureOnTouch アイコン) をクリックします。



- 2 メニューの [スキャナーの選択] をクリックします。



- 3 ご利用のスキャナーを選択し、[OK] をクリックします。



メモ

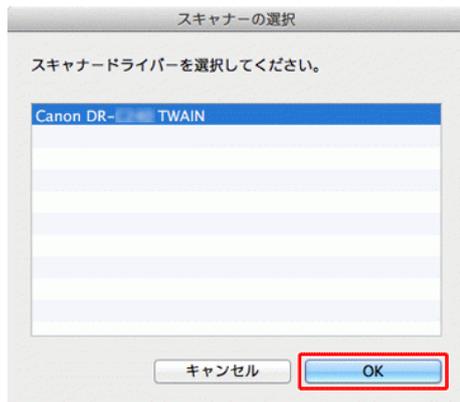
ご利用のスキャナーが表示されないときは、スキャナードライバーを再インストールしてください。(→ P.14)

Mac

- 1 メニューバーの (CaptureOnTouch アイコン) をクリックし、表示されるメニューの [スキャナーの選択] をクリックしてください。



2 ご利用のスキャナーを選択し、[OK] をクリックします。



画面の説明

###HOME > 第6章 CaptureOnTouch でスキャンする > 画面の説明 ###

CaptureOnTouch のメイン画面には、3 ステップスキャンとお気に入りの2つの領域があります。

各領域は、メイン画面の右上の >< で切り替えることができます。



それぞれの領域には、スキャンの種類や出力先に応じたさまざまなパネルが用意されています。

[新規作成] ボタンをクリックすると、新しいパネルが作成されます。



メモ

? をクリックすると、ヘルプが表示されます。 

3 ステップスキャン

###HOME > 第6章 CaptureOnTouch でスキャンする > 3 ステップスキャン ###

操作の流れ：

スキャンモードパネルを選択 ⇒ 出力先パネルを選択 ⇒ 原稿をスキャン

- 1 原稿をスキャナーにセットします。
- 2 [1 スキャンモード] から、スキャンしたい原稿に応じたスキャンモードパネルをクリックします。

選択したスキャンモードパネルがオレンジ色になります。スキャンモードパネルを編集する場合は、「スキャンモードの設定」(P.46)を参照してください。



- 3 [2 出力先] から、スキャン画像の用途に応じた出力先パネルをクリックします。

選択した出力先パネルがオレンジ色になります。出力先パネルを編集する場合は、「出力先の設定」(P.48)を参照してください。



- 4 [スキャン] ボタンをクリックします。



原稿がスキャンされます。スキャン中は、スキャンが終わったページ数と、スキャナー設定の内容が表示されます。

スキャンが終わると、スキャン画像編集画面が表示されます。



メモ

次回もこのスキャンモードと出力先の組み合わせを使用する場合は、[お気に入りへ追加] ボタンをクリックします。

選択したスキャンモードと出力先が、お気に入りパネルとして追加されま

す。



注意

- コンピューターのメモリを大量に消費する条件でスキャンを行った場合、メモリ不足によりスキャンができなくなる場合があります。スキャン中にメモリ不足などのメッセージが表示されたときは、スキャンを中止し、スキャン条件を変更してからスキャンをやり直してください。
- 複数ページのスキャンを行った場合、ファイルサイズが 2GB に達するとファイルの保存ができなくなります。エラーメッセージが表示された場合は、保存の設定を変更してください。

メモ

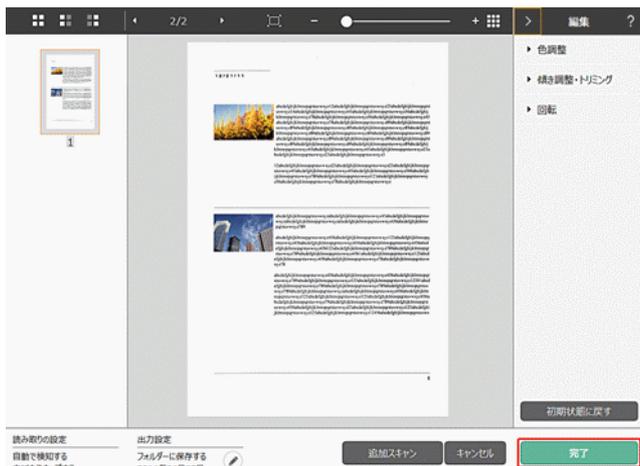
継続してスキャンを行う場合は、次の原稿をセットしてから [追加スキャン] ボタンをクリックします。原稿のスキャンが開始されます。

色調整
焼き調整・トリミング
回転
初期状態に戻す

読み取りの設定 出力設定
自動で検知する フォルダに保存する
白紙をスキップする 2016年04月07日...

追加スキャン キャンセル 完了

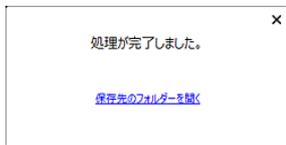
5 スキャン画像を確認したら、[完了] ボタンをクリックします。



スキャン画像の編集を行う場合は、「スキャン画像編集画面の操作」(P.43)を参照してください。

- ボタンをクリックすると、出力先の設定を編集することができます。→「出力先の設定」(P.48)
- 「キャンセル」ボタンをクリックすると、スキャンした画像を破棄してメイン画面に戻ります。

出力が終わると、ポップアップ画面が表示されます。スキャン画像を保存した場合は、保存先のフォルダーを開くリンクが表示されます。これで3ステップスキャンは完了です。



メモ

【保存先のフォルダーを開く】ボタンをクリックすると、スキャン画像が保存されたフォルダーを開くことができます。出力先の設定によっては、【保存先のフォルダーを開く】ボタンが表示されない場合があります。

お気に入りスキャン

###HOME > 第6章 CaptureOnTouch でスキャンする > お気に入りスキャン ###

操作の流れ：

お気に入りを登録 ⇒ 原稿をスキャン ⇒ 画像出力

よく使うスキャンモードと出力先を組み合わせるとお気に入りに追加すると、お気に入りパネルをクリックするだけでスキャンができます。



メモ

登録したお気に入りのひとつをスタートボタンに割り当てると、スキャナーのスタートボタンを押すだけで、その設定でのお気に入りスキャンができます。→「スタートボタンによるスキャン」(P.43)

お気に入りの登録と編集

CaptureOnTouch には、お気に入りを複数登録できます。

- 1 【お気に入り】の【新規作成】ボタンをクリックするか、【3 ステップスキャン】でスキャンモードと出力先を選択して【お気に入りへ追加】ボタンをクリックします。
お気に入りパネルが作成されます。





メモ

【新規作成】ボタンの ▾ をクリックして表示されるメニューから、お気に入りの種類を選択して新規作成することもできます。

2 編集ボタンをクリックします。



お気に入りパネル編集ダイアログが表示されます。

3 【スキャン】タブをクリックして、スキャンモードの設定を行います。→「スキャンモードの設定」(P.46)



4 【出力先】タブをクリックして、出力先の設定を行います。→「出力先の設定」(P.48)



5 【オプション】 タブをクリックすると、オプション設定が行えます。



【スキャン後に編集を行う】

有効にすると、スキャン画像編集画面に編集ウィンドウが表示されます。
→ 「スキャン画像編集画面の操作」(P.43)

【追加スキャンを有効にする】

有効にすると、スキャン画像編集画面に「追加スキャン」ボタンが表示されます。

【ボタンの割り当て】

スキャナーのスタートボタンにお気に入りに登録した設定のうち一つを割り付けることができます。

お気に入りをスタートボタンに割り付けると、お気に入りパネルにアイコンが表示されます。



【出力の順番】

出力先の追加と削除、順番の変更ができます。

6 【全般】 タブをクリックすると、その他の設定が行えます。



【名前】

お気に入りパネルの名前を入力できます。

お気に入りを選択してスキャンする

- 1 原稿をスキャナーにセットします。→「第 5 章 原稿をセットする」(P.20)
- 2 お気に入りパネルをクリックします。

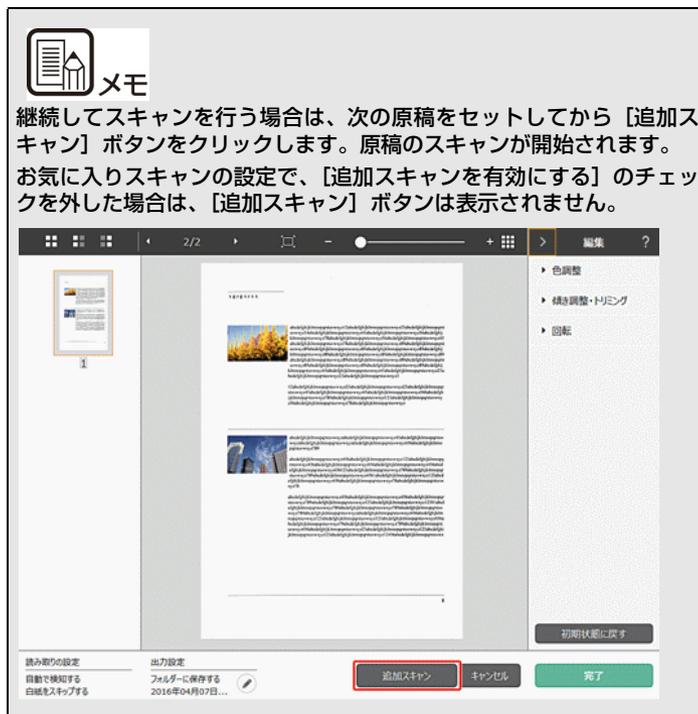


原稿がスキャンされます。スキャン中は、スキャンが終わったページ数と、スキャナー設定の内容が表示されます。

スキャンが終わると、スキャン画像編集画面が表示されます。

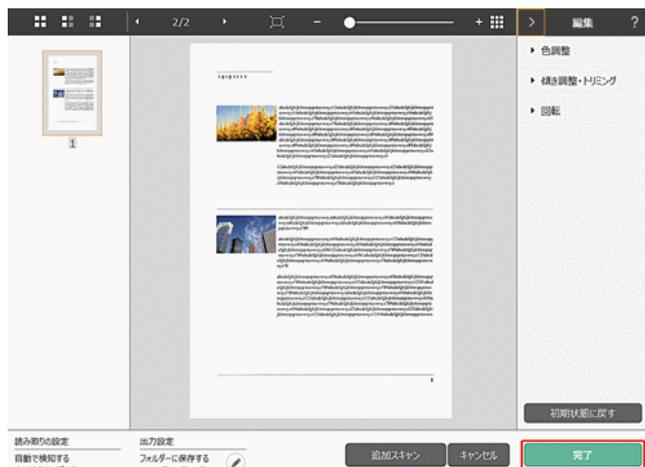
⚠ 注意

- コンピューターのメモリを大量に消費する条件でスキャンを行った場合、メモリ不足によりスキャンができなくなる場合があります。スキャン中にメモリ不足などのメッセージが表示されたときは、スキャンを中止し、スキャン条件を変更してからスキャンをやり直してください。
- 複数ページのスキャンを行った場合、ファイルサイズが 2GB に達するとファイルの保存ができなくなります。エラーメッセージが表示された場合は、保存の設定を変更してください。



継続してスキャンを行う場合は、次の原稿をセットしてから [追加スキャン] ボタンをクリックします。原稿のスキャンが開始されます。お気に入りスキャンの設定で、[追加スキャンを有効にする] のチェックを外した場合は、[追加スキャン] ボタンは表示されません。

3 スキャン画像を確認したら、[完了] ボタンをクリックします。



スキャン画像の編集を行う場合は、「スキャン画像編集画面の操作」(P.43)を参照してください。



メモ

【保存先のフォルダーを開く】ボタンをクリックすると、スキャン画像が保存されたフォルダーを開くことができます。出力先の設定によっては、[保存先のフォルダーを開く]ボタンが表示されない場合があります。



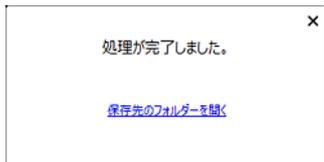
メモ

お気に入りスキャンの設定で、[スキャン後に編集を行う]を無効にした場合は、編集ウィンドウは表示されません。

🕒 ボタンをクリックすると、出力先の設定を編集することができます。→「出力先の設定」(P.48)

[キャンセル] ボタンをクリックすると、スキャンした画像を破棄してメイン画面に戻ります。

出力が終わると、ポップアップ画面が表示されます。
これでお気に入りスキャンは完了です。



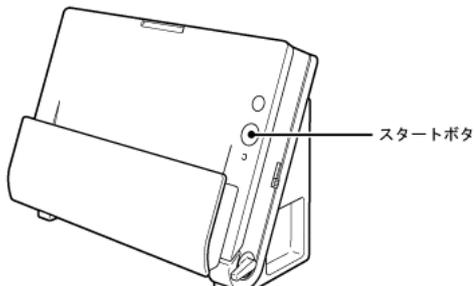
スタートボタンによるスキャン

###HOME > 第6章 CaptureOnTouch でスキャンする > スタートボタンによるスキャン ###

スキャナーのスタートボタンにはあらかじめ「お気に入りスキャン」が割り当てられています。

よく使うスキャン方法をお気に入りに設定して、スタートボタンに割り当てることができます。

原稿をセットしてスタートボタンを押すと、CaptureOnTouch が起動し、スキャンが開始されます。



メモ

- 環境設定で、[本体ボタンからスキャン開始したときに、メイン画面を表示しない] チェックボックスをオンにしている場合、スタートボタンからスキャンを開始したときに CaptureOnTouch のメイン画面は表示されません。スキャン中のダイアログやエラーメッセージ、完了のポップアップ画面のみ表示されます。
- 環境設定で、[本体ボタンからスキャン開始したときに、メイン画面を表示しない] チェックボックスをオンにしている場合、スタートボタンからスキャンを開始したときに、[スキャン後に編集を行う] と [スキャンを有効にする] は無効になります。

スキャン画像編集画面の操作

###HOME > 第6章 CaptureOnTouch でスキャンする > スキャン画像編集画面の操作 ###

スキャンが完了すると、スキャンした画像のプレビュー画面が表示されます。

プレビュー画面に編集ウィンドウを表示するには、ツールバーの  をクリックします。



スキャン画像編集画面



(1) ツールバー

サムネイルやプレビュー画像を操作するツールバーです。

ツールボタン	説明
	サムネイルの画像選択を切り替えます。左から、「全選択」、「奇数ページ選択」、「偶数ページ選択」の順に動作します。
	プレビューに表示されているページを表示します。   をクリックすると、表示ページが切り替わります。

	プレビューの表示倍率を変更します、スライダーを+、-の方向へ動かすことで、プレビュー画像が拡大 / 縮小します。  をクリックすると、プレビューの表示倍率を画面にフィットさせます。
	クリックすると、プレビューウィンドウの表示 / 非表示を切り替えます。
	 をクリックすると、編集ウィンドウの表示 / 非表示を切り替えます。
	クリックすると、ヘルプが表示されます。 

(2) サムネイル表示領域

スキャンされた原稿のサムネイル画像が表示されます。次の操作ができます。

サムネイル画像をクリックすると、そのスキャン画像のプレビューがプレビューウィンドウに表示されます。

サムネイル画像をドラッグすると、ページの入れ替えができます

(3) プレビューウィンドウ

スキャン原稿のプレビュー画像が表示されます。

(4) 編集ウィンドウ

スキャン原稿の編集が行えます。

各項目をクリックすると、編集画面が開きます。

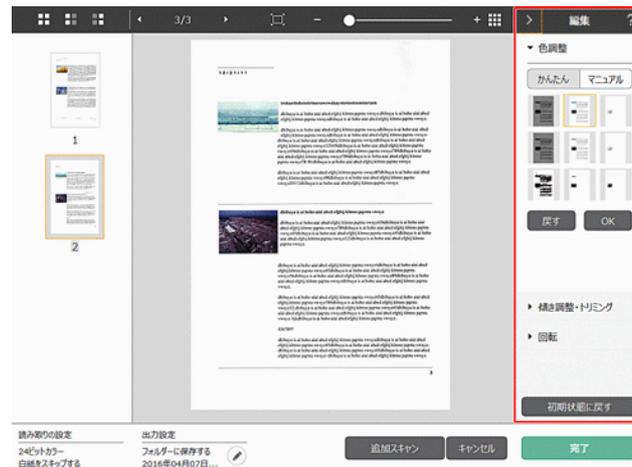
「画像を初期状態に戻す」ボタンをクリックすると、編集結果を破棄してスキャン直後の画像に戻ります。



メモ

お気に入りスキャンの設定で、[スキャン後に編集を行う] を無効にした場合は、編集ウィンドウは表示されません。

色調整 (かんたん設定)



「色調整」をクリックすると最初に表示されます。

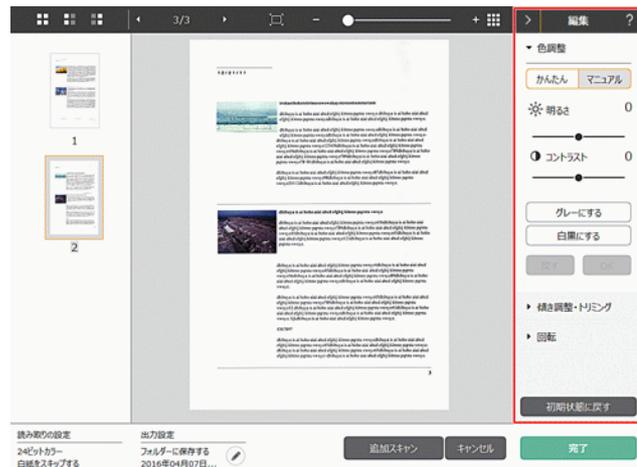
かんたん設定とマニュアル設定は、ボタンをクリックすると交互に表示されます。

かんたん色調整では、サムネイル画像をクリックして、最も適したプレビュー画像が表示されるものを選択します。

サムネイル画像は、対象画像がカラーのときに9パターン、グレースケールのときに6パターン表示されます。

調整が終わったら「OK」ボタンをクリックします。調整をキャンセルする場合は「戻す」ボタンをクリックします。

色調整 (マニュアル設定)



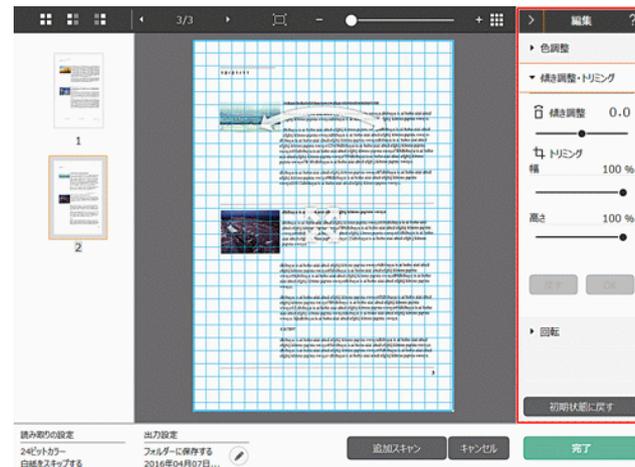
明るさとコントラストを、プレビュー画像を確認しながらスライダーを左右に動かすことで調整できます。

[グレーにする] ボタンをクリックすると、グレースケール画像になります。

[白黒にする] ボタンをクリックすると、白黒 2 値の画像になります。

調整が終わったら [OK] ボタンをクリックします。調整をキャンセルする場合は [戻す] ボタンをクリックします。

傾き調整・トリミング

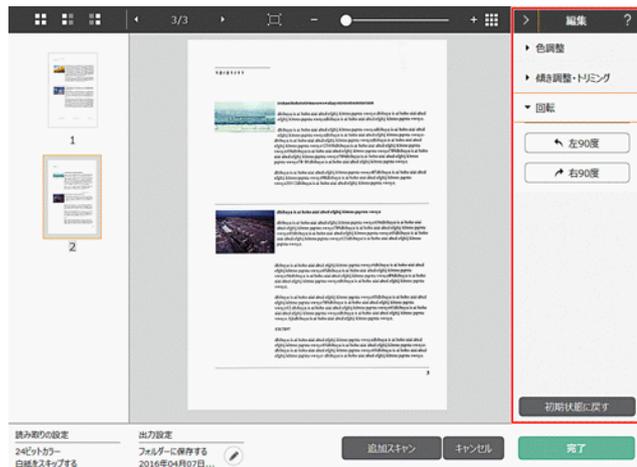


[傾き補正・トリミング] をクリックすると表示されます。傾き補正とトリミングを、プレビュー画像とスライダーのどちらからでも調整できます。

プレビュー画像では、 移動グリッ、 傾き調整グリッやトリミング枠を直接ドラッグすることで、傾きやトリミングの調整が行えます。トリミングを行った後に、プレビュー画面上で  移動グリッをドラッグすると、切り出す範囲を変更することができます。

調整が終わったら [OK] ボタンをクリックします。調整をキャンセルする場合は [戻す] ボタンをクリックします。

回転



[回転] をクリックすると表示されます。スキャン画像を左 90 度または右 90 度に回転します。プレビュー画像を確認しながら調整できます。

(5) 情報表示領域

スキャンモードと出力先の情報を表示します。

ボタンをクリックすると、出力設定ダイアログが表示されます。

[追加スキャン] ボタンをクリックすると、継続スキャンを開始します。

[キャンセル] ボタンをクリックすると、スキャンした画像を破棄し、トップ画面に戻ります。

[完了] ボタンをクリックすると、出力処理を開始します。出力が終了すると、ポップアップ画面が表示されます。スキャン画像を保存した場合は、保存先のフォルダーを開くリンクが表示されます。



メモ

お気に入りスキャンの設定で、[追加スキャンを有効にする] のチェックを外した場合は、[追加スキャン] ボタンは表示されません。

スキャンモードの設定

###HOME > 第 6 章 CaptureOnTouch でスキャンする > スキャンモードの設定 ###

デフォルトでは、CaptureOnTouch はおまかせモードでのスキャン設定が有効になっているため、原稿に合ったスキャン条件でスキャンが行われます。

原稿サイズ、カラーモードなどの設定を指定したい場合に、スキャンモードパネルを編集して、任意のスキャン条件を設定できます。

スキャンモードパネルの新規作成

スキャンモードエリアの [新規作成] ボタンをクリックすると、スキャンモードパネルが新規作成されます。

または、[新規作成] ボタンの ▾ をクリックして表示されるメニューから、スキャンモードの種類を選択して新規作成することもできます。

スキャンモードパネルの編集

スキャンモードパネルの 設定 ボタンをクリックすると、スキャンモードパネル編集ダイアログが表示されます。お気に入りパネル編集ダイアログでは、[スキャンモード] タブをクリックします。



読み取りの設定

読み取り条件の設定を行います。

カラーモード

原稿をスキャンするカラーモードを、次の中から選択します。

自動で検知する	原稿の内容からカラーモードを自動判別してスキャンします。
24ビットカラー	原稿をカラーでスキャンします。
グレースケール	原稿をグレースケールでスキャンします。
白黒にする	原稿を白黒二値でスキャンします。

用紙サイズ

原稿の用紙サイズを指定します。

【原稿のサイズに合わせる】を指定したときは、スキャンした原稿の用紙サイズを検知し、検知したサイズで画像を保存します。

解像度

スキャンの解像度を指定します。

【自動で検知する】を指定したときは、スキャンした原稿の内容から自動的に解像度が検出されます。

読み取り面

原稿を片面のみスキャンするか、両面をスキャンするかを指定します。

【白紙をスキップする】を指定したときは、原稿中に白紙があった場合にそのページを飛ばしてスキャンします。

画像の傾きを自動で補正する

原稿が斜めに給紙されたときに、スキャンした画像の傾きを検知してまっすぐに補正します。

【搬送時の原稿の傾きを補正する】、【画像の傾きを補正する】から選択します。

文字の向きに合わせて画像を回転する

この項目を有効にすると、読み取った画像の中にある文字の向きを認識し、文字の向きが正常になるように画像の向きを回転します。

詳細設定ダイアログボックスを使う

スキャンモードの設定には、【読み取りの設定】で設定する基本項目と、詳細設定ダイアログボックスで設定する設定項目があり、基本項目以外の設定は詳細設定ダイアログボックスの設定が適用されます。

【詳細設定ダイアログボックスを使う】を有効にすると、基本項目以外の詳細なスキャナー設定は、詳細設定ダイアログボックス（スキャナードライバー）で行います。スキャナードライバーを開くには、この項目を有効にしてから、【設定】ボタンをクリックします。



メモ

ドライバーの設定ダイアログボックスには、【読み取りの設定】の基本項目と同じ設定項目があり、それぞれの設定内容は独立して保持されません。

スキャン時にどちらの設定が適用されるかは、【詳細設定ダイアログボックスを使う】チェックボックスの設定によって次のように異なります。

【詳細設定ダイアログボックスを使う】の設定	基本項目	基本項目以外
無効	【読み取りの設定】の設定	スキャナードライバーの詳細設定ダイアログボックスの設定
有効	スキャナードライバーの詳細設定ダイアログボックスの設定	

基本項目以外の設定項目の詳細については、ドライバーの設定ダイアログボックスのヘルプを参照してください。

全般

スキャンモードの名称やアイコンを設定します。

名前

スキャンモードパネルに表示される名前を入力します。

アイコン

スキャンモードパネルやお気に入りパネルに表示されるスキャンモードのアイコンを変更できます。

[アイコンを変更する] にチェックを付けると、[設定] ボタンが有効になり、ファイルの選択ができます。

アイコンファイルとして選択できるファイル形式は以下のとおりです。

Windows

- .ico、.exe、.jpg、.png

Mac

- .icns、.app、.jpg、.png

出力先の設定

###HOME > 第6章 CaptureOnTouch でスキャンする > 出力先の設定 ###

デフォルトでは、CaptureOnTouch はスキャン画像を PDF ファイルに変換してフォルダーに保存する設定が有効になっています。

出力方法や保存場所を指定したい場合に、出力先パネルを編集して、任意の出力先を設定できます。

出力先パネルの新規作成

[新規作成] ボタンをクリックすると、出力先パネルが新規作成されます。

[新規作成] ボタンの ▾ をクリックして表示されるメニューから、出力先を選択して新規作成することもできます。

出力先パネルの編集

出力先パネルの  ボタンをクリックすると、出力先パネル編集ダイアログが表示されます。

お気に入りパネル編集ダイアログでは、[出力先] タブをクリックします。



出力先パネル編集ダイアログのスクリーンショット。上部には「出力設定」セクションがあり、「出力方法の選択(B):」で「フォルダーに保存する」が選択されています。その下には「ファイル名(G):」に「Image」が入力されています。さらに「ファイル形式(X):」で「PDF (*.pdf)」が選択されています。「保存場所(Y):」で「デスクトップ」が選択されています。下部には「全般」セクションがあり、「名前(M):」に「デスクトップ」が入力されています。アイコンとしてフォルダのアイコンが表示されており、「アイコンを変更する(S)」というオプションがあります。右下には「閉じる」ボタンとゴミ箱アイコンがあります。

出力方法の選択

選択した出力方法によって、選択できるファイル形式や保存場所が異なります。

フォルダーに保存する



出力先パネル編集ダイアログのスクリーンショット。上部には「出力設定」セクションがあり、「出力方法の選択(B):」で「フォルダーに保存する」が選択されています。下部には「ファイル名(M):」の入力欄があり、「詳細設定ダイアログボックスを扱う(D)」というオプションがチェックされています。

スキャンした画像を、指定したフォルダーに保存します。この出力方法を指定したときは、保存場所のフォルダーを設定します。

その他の出力方法

CaptureOnTouch では、[フォルダーに保存する] 以外の出力方法は、プラグインとして提供しています。

プラグインをインストールすることによって、スキャン画像の印刷やメール添付などの他、さまざまなサービスを利用することができます。

プラグインは、CaptureOnTouch のインストール時に、チェックをつけてインストールすることができます。

インストールしているプラグインによって、選択できる出力方法は異なります。

各プラグインの使用方法については、プラグインのヘルプを参照してください。

お気に入りの設定

###HOME > 第6章 CaptureOnTouch でスキャンする > お気に入りの設定 ###

デフォルトでは、CaptureOnTouch はおまかせモードでのお気に入りスキャンが有効になっているため、原稿に合ったスキャン条件でフォルダーに保存するお気に入りスキャンが行われます。

スキャンモードと出力先の組み合わせを指定したい場合に、お気に入りパネルを編集して、任意のお気に入りを設定できます。

お気に入りパネルの新規作成

お気に入りパネルを新規作成するには、次の2つの方法があります。

- 3ステップスキャンの [3アクション] で、[お気に入りへ追加] ボタンをクリックすると、選択したスキャンモードと出力先が、ひとつのお気に入りパネルに登録されます。
- お気に入り領域の [新規作成] ボタンをクリックすると、お気に入りパネルが新規作成されます。
[新規作成] ボタンの ▾ をクリックして表示されるメニューから、お気に入りの種類を選択して新規作成することもできます。

お気に入りパネルの編集

お気に入りパネルの ✎ ボタンをクリックすると、お気に入りパネル編集ダイアログが表示されます。

お気に入りパネル編集ダイアログには、以下のタブがあります。

- [スキャン] タブ
- [出力先] タブ
- [オプション] タブ
- [全般] タブ

ファイル形式について

###HOME > 第6章 CaptureOnTouch でスキャンする > ファイル形式について ###

スキャン画像のファイル形式を設定します。BMP、PNG 形式以外のファイル形式を選択したときは、[詳細設定] ボタンが有効になり、ファイル形式の設定を行うことができます。



メモ

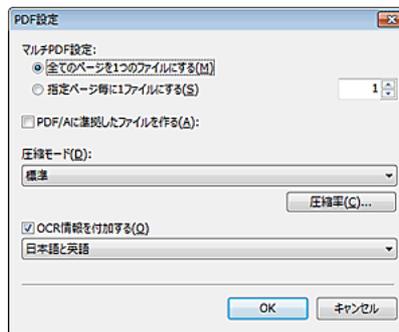
スキャン画像のファイル形式は、下記のいずれかを指定できます。

- PDF 形式 **Windows** **Mac**
- TIFF 形式 **Windows** **Mac**
- PNG 形式 **Windows** **Mac**
- JPEG 形式 **Windows** **Mac**
- BMP 形式 **Windows**
- PPTX 形式 (Microsoft PowerPoint 2007 以降のファイル形式) **Windows**

出力先の設定によって、選択できるファイル形式は異なります。

プラグインによる出力では、スキャン画像はプラグインのアプリケーションで設定したファイル形式で出力されます。そのため、スキャンモードパネルで選択したファイル形式と異なる場合があります。

PDF 設定



[マルチ PDF 設定] で、スキャン画像をマルチページ (全ページを 1 つのファイルにする) とシングルページ (指定したページ数ごとに 1 つのファイルにする) のどちらで保存するかを指定します。

[PDF/A に準拠したファイルを作る] にチェックを付けると、PDF/A に準拠したファイルを作成します。

[圧縮モード] で、PDF ファイルの圧縮モード ([標準] または [高圧縮]) を指定します。

[圧縮率] ボタンをクリックすると、表示されるダイアログボックスで圧縮率を指定できます。

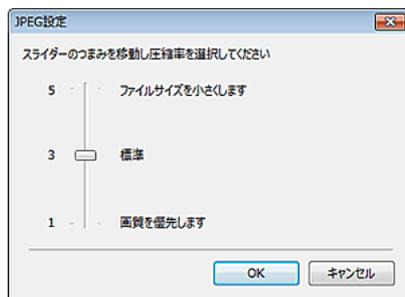
TIFF 設定



[マルチ TIFF 設定] で、スキャン画像をマルチページ (全ページを 1 つのファイルにする) とシングルページ (指定したページ数ごとに 1 つのファイルにする) のどちらで保存するかを指定します。

Windows [画像を圧縮する] を [ON] にしてから [設定] ボタンをクリックし、表示されるダイアログボックスで圧縮率を指定できます。

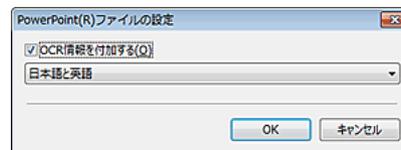
JPEG 設定



JPEG 画像の圧縮率を指定できます。

Windows

PPTX 設定



スキャン画像に OCR 情報を付加するかどうかを指定できます。

環境設定

###HOME > 第 6 章 CaptureOnTouch でスキャンする > 環境設定 ###

CaptureOnTouch の環境設定を行うには、[環境設定] ダイアログボックスを開きます。

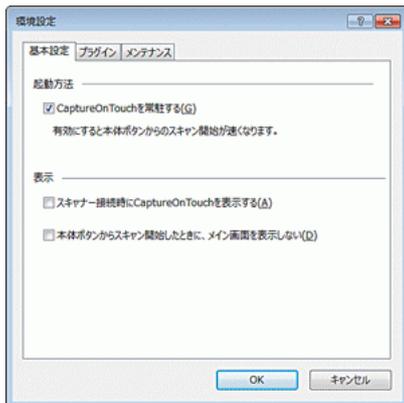
Windows

タスクバーの  (CaptureOnTouch アイコン) をクリックし、メニューの [環境設定] をクリックします。

以降では、[環境設定] ダイアログボックスに表示される各タブの設定項目について説明します。

[基本設定] タブ

[基本設定] タブでは以下の設定を行います。



起動方法

デフォルトでは、コンピューターの起動時に CaptureOnTouch がシステムに常駐します。[CaptureOnTouch を常駐する] チェックボックスをオフにすると、システムへの常駐を無効にできます。

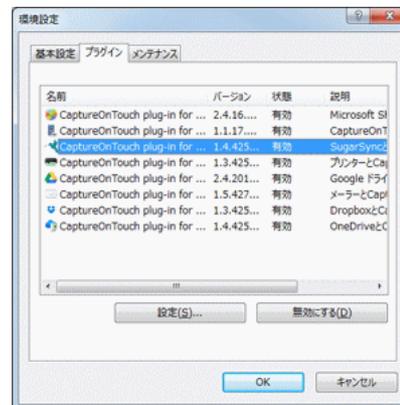
表示

[スキャナー接続時に CaptureOnTouch を表示する] チェックボックスをオンにすると、スキャナーをコンピューターに接続したときに自動的に CaptureOnTouch のメイン画面が開きます。この設定は、CaptureOnTouch が起動している（またはシステムに常駐している）場合のみ有効です。この設定をオンにすると、[本体ボタンからスキャン開始したときに、メイン画面を表示しない] の設定はオフになります。

[本体ボタンからスキャン開始したときに、メイン画面を表示しない] チェックボックスをオンにすると、スキャナーのスタートボタンを押してお気に入りスキャンを開始したときは、CaptureOnTouch のメイン画面を表示しません。スキャン中のダイアログやエラーメッセージ、完了のポップアップ画面は表示されます。この設定をオンにすると、お気に入りパネル編集ダイアログの [追加スキャンを有効にする]、[スキャン後に編集を行う] のチェックは無効になります。

[プラグイン] タブ

[プラグイン] タブでは、CaptureOnTouch に追加されているプラグインを確認できます。



[設定] ボタン

プラグインリストで選択しているプラグインの詳細情報を表示します。



メモ

プラグインによって、このボタンの表示の有無は異なります。

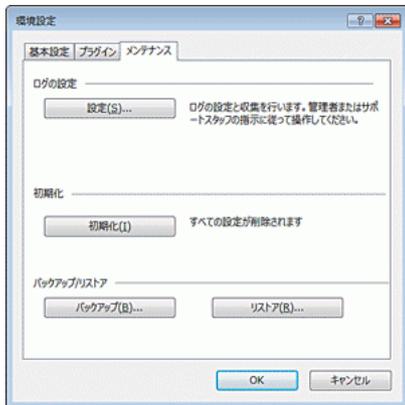
【有効にする】 / 【無効にする】 ボタン

一覧で選択しているプラグインの有効/無効を切り替えます。
【無効にする】を選択すると、以下の確認ダイアログが表示されます。



【メンテナンス】 タブ

【メンテナンス】タブでは、CaptureOnTouch のメンテナンスのためのログの設定や初期化を行います。



バックアップ / リストア

【バックアップ】ボタンと【リストア】ボタンで、CaptureOnTouch の設定ファイル（設定内容など）をバックアップしたり、バックアップしたデータから設定を復元できます。

【バックアップ】 ボタン

CaptureOnTouch の設定をバックアップファイル (*.cot) にバックアップします。CaptureOnTouch を使用する前にバックアップを行うことにより、CaptureOnTouch の初期状態を保持できます。

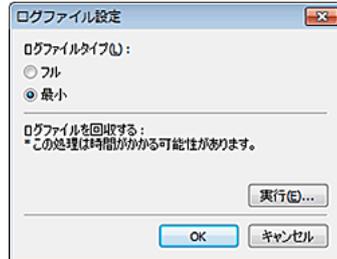
【リストア】 ボタン

バックアップしたファイルから設定を復元します。

複数台のコンピューターを使用している場合に、1 台のコンピューターで行った環境設定をバックアップし、他のコンピューターにリストアすることで同じ設定にできます。

ログの設定

【設定】ボタンをクリックすると、ログファイル設定画面が表示されます。ログファイルのタイプを選択します。



【実行】ボタンをクリックすると、ログファイルを保存するダイアログが表示されます。

初期化

【初期化】ボタンをクリックすると、確認ダイアログが表示されます。



CaptureOnTouch のすべてのデータが削除され、初期値に戻ります。

Mac

CaptureOnTouch のメイン画面を表示させた状態で、[CaptureOnTouch DR-C225] メニューの [環境設定] をクリックします。

以降では、[環境設定] ダイアログボックスに表示される各タブの設定項目について説明します。

[基本設定] タブ

[基本設定] タブでは以下の設定を行います。



起動方法の設定

デフォルトでは、コンピューターの起動時に CaptureOnTouch がシステムに常駐します。[CaptureOnTouch を常駐する] チェックボックスをオフにすると、システムへの常駐を無効にできます。

スキャナー接続時の表示設定

[スキャナー接続時に CaptureOnTouch を起動する] チェックボックスをオンにすると、スキャナーをコンピューターに接続したときに自動的に CaptureOnTouch のメイン画面が開きます。この設定は、CaptureOnTouch が起動している（またはシステムに常駐している）場合のみ有効です。

バックアップ / リストア

[バックアップ] ボタンと [リストア] ボタンで、CaptureOnTouch の設定ファイル（設定内容など）をバックアップしたり、バックアップしたデータから設定を復元できます。

[バックアップ] ボタン

CaptureOnTouch の設定をバックアップファイル (*.plist) にバックアップします。CaptureOnTouch を使用する前にバックアップを行うことにより、CaptureOnTouch の初期状態を保持できます。

[リストア] ボタン

バックアップしたファイルから設定を復元します。

複数台のコンピューターを使用している場合に、1 台のコンピューターで行った環境設定をバックアップし、他のコンピューターにリストアすることで同じ設定にできます。

【プラグイン】 タブ

【プラグイン】 タブでは、CaptureOnTouch に追加されているプラグインを確認できます。



【詳細設定】 ボタン

プラグインリストで選択しているプラグインの詳細情報を表示します。



メモ

プラグインによって、このボタンの表示の有無は異なります。

【有効にする】 / 【無効にする】 ボタン

一覧で選択しているプラグインの有効/無効を切り替えます。

プラグインの削除

【削除】 ボタンをクリックすると、一覧で選択したプラグインを削除できます。

【メンテナンス】 タブ

【メンテナンス】 タブでは以下の設定を行います。



初期化

設定をすべて初期値に戻します。

第7章 スキャナードライバーの設定

###HOME > 第7章 スキャナードライバーの設定 ###

ドライバーを最初にロードした際、選択したスキャナーと用紙の初期値選択ダイアログが表示されます。 



メモ

- ISIS ドライバーの設定ダイアログボックスで【初期値】をクリックしたときに、ここでの設定が反映されます。
- TWAIN ドライバーの場合、初期値は「A4」に設定され、変更することはできません。

ISIS 互換または TWAIN 互換アプリケーション（CaptureOnTouch など）で原稿をスキャンするときは、スキャナードライバーを開いてスキャン条件などを設定します。

ここでは、スキャナードライバーの構成と機能について説明します。

スキャナードライバーの構成と機能56

基本的なスキャン条件の設定59

モードの設定による機能制限62

スキャナードライバーの構成と機能

###HOME > 第7章 スキャナードライバーの設定 > スキャナードライバーの構成と機能 ###

→ 

→ 



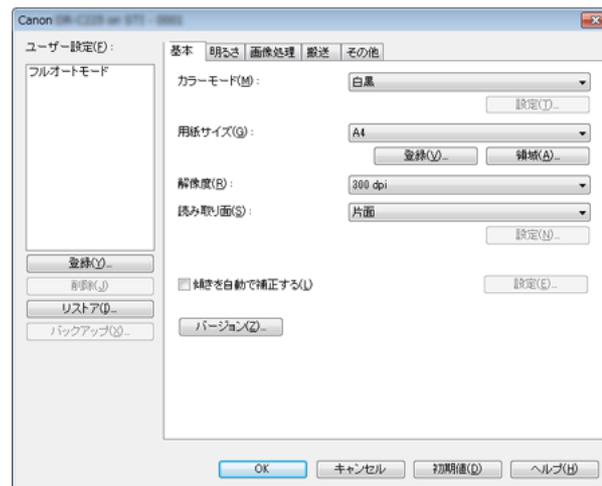
スキャナードライバーは次のタブで構成されています。



メモ

設定画面についての詳細は、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。ドライバーの【ヘルプ】ボタンをクリックすると、そのタブやダイアログボックスに関するヘルプが表示されます。

【基本】タブ



モードや用紙サイズ、解像度、読み取り面などの基本的なスキャン条件を設定します。

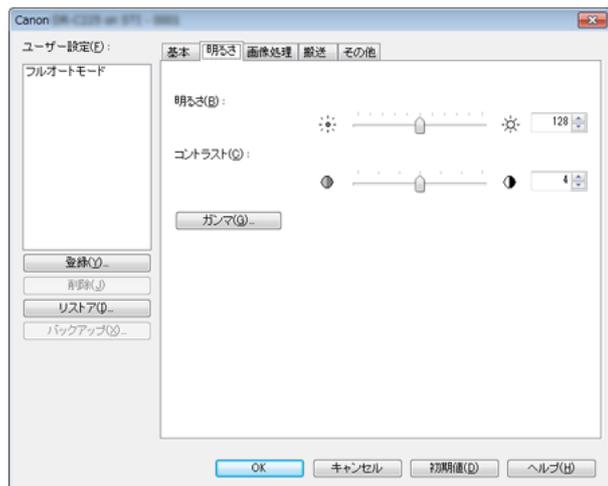
[領域] ボタンをクリックして、スキャンする領域を指定することもできます。



メモ

ISIS 互換アプリケーションによっては、スキャン条件をアプリケーション独自の画面で設定することがあります。このようなアプリケーションでスキャナードライバーを開いた場合、[基本] タブにはスキャン条件以外のスキャナードライバーが提供する機能に関する設定項目が表示されます。

[明るさ] タブ



スキャン画像の明るさとコントラストを調整します。

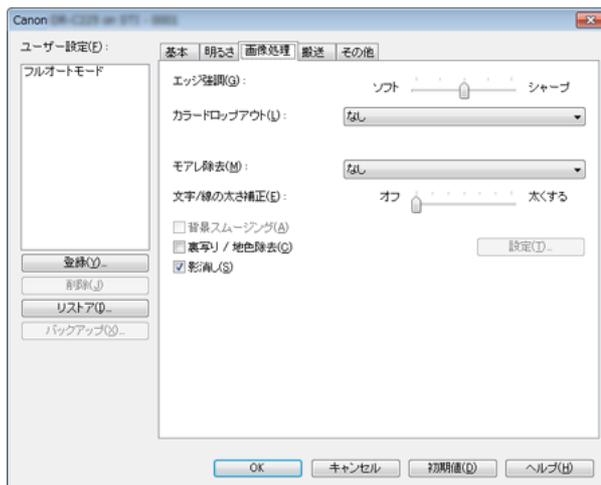
[ガンマ] をクリックして、スキャン画像のガンマ補正値を設定することもできます。



メモ

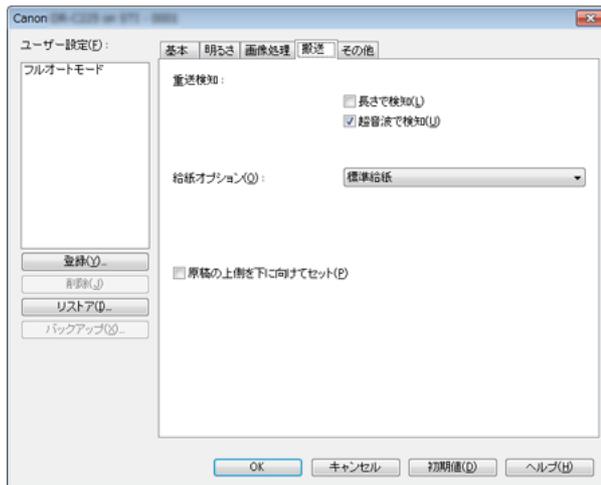
- ガンマ補正は、スキャンする画像の色調と、モニターに表示された画像の色調が異なる場合に設定します。
- ご使用のモニターのガンマ値については、モニターに付属の取扱説明書を参照してください。

[画像処理] タブ



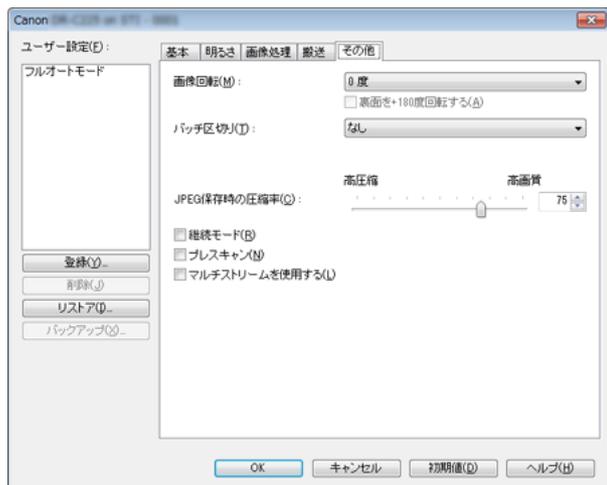
スキャン画像の処理方法を設定します。

[搬送] タブ



原稿の給紙に関するスキャナーの動作を指定します。

[その他] タブ



特殊なスキャン方法や画像処理に関する設定をします。

Mac

CaptureOnTouch からスキャナードライバーを開いたときは、次のようなスキャナードライバーの設定画面が表示されます。





メモ

TWAIN 互換アプリケーションからスキャナードライバの設定画面を呼び出した場合は、次のように簡単モードと詳細モードを切り替えて設定する設定画面になります。

簡単モード



詳細モード



基本的なスキャン条件の設定

###HOME > 第7章 スキャナードライバの設定 > 基本的なスキャン条件の設定 ###

読み取りの設定を行う際に最低必要となる基本設定の項目の概略について説明します。

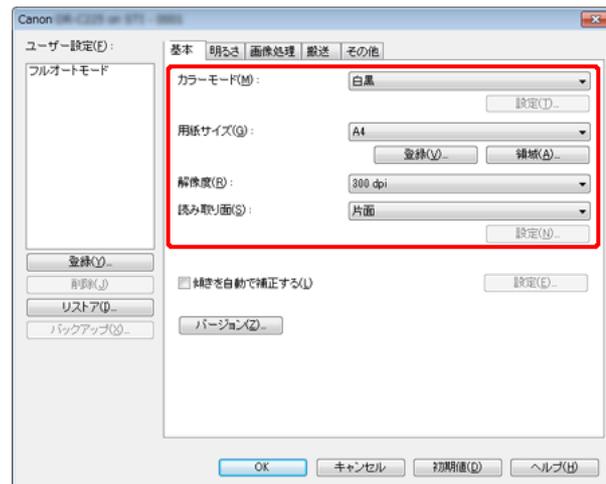
→ Windows

→ Mac

Windows

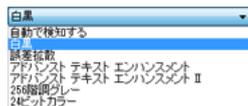
読み取りの基本条件の確認

原稿をスキャンするときは、基本設定ダイアログボックスで「カラーモード」、「用紙サイズ」、「解像度」、「読み取り面」の基本条件を必ず確認してください。



カラーモード

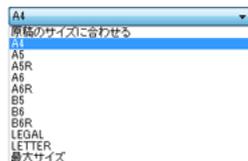
スキャンするモードを選択します。



- [アドバンスドテキストエンハンスメント] および [アドバンスドテキストエンハンスメント II] は、文字の周りや地色の背景を除去または処理し、文字を強調させて読みやすくします。[アドバンスドテキストエンハンスメント II] を選択したときは、[明るさ] タブでコントラストを調整することで、スキャンした画像の文字が読みやすくなるように調整できます。
- [自動で検知する] は原稿の内容からカラー、グレーまたは白黒のいずれかを検知します。[設定] をクリックすると、検知方法に関する詳細な設定ができます。詳細はヘルプを参照してください。

用紙サイズ

スキャンする原稿に合わせて用紙サイズを選択します。



[原稿のサイズに合わせる] を選択すると、原稿の端を検知して原稿のサイズに合わせた画像が保存されます。

解像度

スキャンする解像度を選択します。



解像度を高くすると画像がきれいになりますが、ファイルサイズが大きくなり、スキャン速度も遅くなります。

[自動で検知する] を選択すると、原稿に印刷されている内容から自動的に解像度が検知されます。

読み取り面

原稿をスキャンする面を選択します。



読み取り面を [白紙をスキップする] にすると、白紙の面の画像を削除して保存されます。



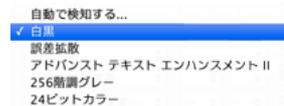
読み取りの基本条件の確認

原稿をスキャンするときは、スキャナードライバーの設定画面で「カラーモード」、「解像度」、「用紙サイズ」、「読み取り面」の基本条件を必ず確認してください。



カラーモード

スキャンするモードを選択します。



- [アドバンスドテキストエンハンスメント II] は、文字の周りの地色や背景を除去または処理し、文字を強調させて読みやすくします。
- [自動で検知する] は原稿の内容からカラー、グレーまたは白黒のいずれかを検知します。この項目を選択したときは、検知方法に関する詳細な設定ができます。詳細はヘルプを参照してください。

解像度

スキャンする解像度を選択します。



- 解像度を高くすると画像がきれいになりますが、ファイルサイズが大きくなり、スキャン速度も遅くなります。
- [自動で検知する] を選択すると、原稿に印刷されている内容から自動的に解像度が検知されます。

用紙サイズ

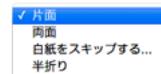
スキャンする原稿に合わせて用紙サイズを選択します。



[自動で検知する] を選択すると、原稿のエッジを検知して原稿のサイズに合わせた画像が保存されます。

読み取り面

原稿をスキャンする面を選択します。



読み取り面を [白紙をスキップする] にすると、白紙の面の画像を削除して保存されます。

モードの設定による機能制限

###HOME > 第7章 スキャナードライバーの設定 > モードの設定による機能制限 ###

→ Windows

→ Mac

Windows

【基本】タブの【カラーモード】の設定に応じて、次のようにドライバーの各タブの設定項目の一部が無効になります。

【明るさ】タブ

設定値	コントラスト
自動で検知する	○
白黒	○
誤差拡散	○
アドバンスドテキストエンハンスメント	×
アドバンスドテキストエンハンスメントII	○
256 階調グレー	○
24 ビットカラー	○

(○：設定可 ×：設定不可)

【その他】タブ

設定値	ブレスキャン
自動で検知する	×
白黒	○
誤差拡散	○
アドバンスドテキストエンハンスメント	○
アドバンスドテキストエンハンスメントII	○
256 階調グレー	○
24 ビットカラー	○

(○：設定可 ×：設定不可)

【画像処理】タブ

設定値	エッジ強調	カラードロップアウト	背景スムージング
自動で検知する	○	×	○
白黒	○	○	×
誤差拡散	○	○	×
アドバンスドテキストエンハンスメント	○	○	×
アドバンスドテキストエンハンスメントII	×	○	×
256 階調グレー	○	○	○
24 ビットカラー	○	×	○

設定値	裏写り／地色除去	文字／線の太さ補正
自動で検知する	○*1	○*2
白黒	○	○
誤差拡散	○	○
アドバンスドテキストエンハンスメント	×	○
アドバンスドテキストエンハンスメントII	×	○
256 階調グレー	○	×
24 ビットカラー	○	×

(○：設定可 ×：設定不可)

*1 【カラー白黒検知設定】ダイアログボックスの設定が下記の条件のすべてに合致する場合は設定不可

- ・ 【検知モード】が【カラーまたはグレー】以外
- ・ 【白黒と判定された場合】タブの【白黒の場合のモード】が【アドバンスドテキストエンハンスメント】または【アドバンスドテキストエンハンスメントII】

*2 【カラー白黒検知設定】ダイアログボックスの【検知モード】が【カラーまたはグレー】の場合は設定不可

Mac

スキャナードライバーの設定画面の【カラーモード】の設定に応じて、次のようにドライバーの各設定項目の一部が無効になります。

簡単モード

設定値	1 ページ目を確認する
自動で検知する	×
白黒	○
誤差拡散	○
アドバンスドテキストエンハンスメント II	○
256 階調グレー	○
24 ビットカラー	○

(○：設定可 ×：設定不可)

詳細モード

設定値	裏面の明るさを 使用する	裏面のコントラストを使用する
自動で検知する	○	○
白黒	○	○
誤差拡散	○	○
アドバンスドテキストエンハンスメント II	×	×
256 階調グレー	○	○
24 ビットカラー	○	○

(○：設定可 ×：設定不可)

[画像処理] ダイアログボックス

設定値	エッジ強調	背景スムージング	裏写り／地色除去
自動で検知する	○	○*	×
白黒	○	×	○
誤差拡散	○	×	○
アドバンスドテキストエンハンスメント II	×	×	×
256 階調グレー	○	○	○
24 ビットカラー	○	○	○

設定値	カラードロップアウト	文字／線の太さ補正
自動で検知する	×	×
白黒	○	○
誤差拡散	○	○
アドバンスドテキストエンハンスメント II	○	○
256 階調グレー	○	×
24 ビットカラー	×	×

(○：設定可 ×：設定不可)

*【自動で検知する】を選択したときに表示される設定画面の【検知モード】が【カラーまたはグレー】の場合のみ

第 8 章 目的別にスキャンする

###HOME > 第 8 章 目的別にスキャンする ###

目的に合わせてスキャンする場合の設定例について説明します。設定項目の詳細については、「第 7 章 スキャナードライバーの設定」(P.56)を参照してください。

用紙サイズに登録されていない原稿を読み取りたい.....	64
スキャン領域を指定したい.....	65
両面原稿の中にある白紙ページの画像を削除したい.....	66
色の付いた罫線や文字をスキャンしないようにしたい.....	67
赤を強調させたい.....	68
画像の輪郭をはっきりさせたい.....	69
スキャン画像の文字や線を太くしたい.....	70
背景などで文字が読みづらい原稿をスキャンしたときに文字をはっきりさせたい.....	71
原稿が複数枚重なって給紙されるのを検知したい.....	72
原稿の上側を下に向けてセットしてスキャンしたい.....	73
文字の向きが異なる原稿が混在しているときに画像の向きを文字に合わせてそろえたい.....	74
横向きにセットした原稿の画像が正しくなるように回転させたい.....	75
スキャン条件を自動的に設定してスキャンしたい.....	76
バッチ区切りでスキャンしたい.....	77
マルチストリーム設定でスキャンしたい.....	78
スキャナードライバーの設定を保存したい.....	79
スキャンパネル.....	80

用紙サイズに登録されていない原稿を読み取りたい

###HOME > 第 8 章 目的別にスキャンする > 用紙サイズに登録されていない原稿を読み取りたい ###

Windows

用紙サイズに登録されていない原稿は、以下の設定を行うことにより読み取ることができるようになります。

用紙サイズに登録されていない原稿を読み取るときは、[基本] タブの [登録] ボタンから開く [カスタム用紙サイズの登録] ダイアログボックスで、用紙のサイズを入力します。設定した用紙サイズは、名前を付けて登録することができます。

カスタム用紙サイズの登録

用紙サイズ(S): A4 [削除(D)]

名称(N):

幅(W): 21.00cm

長さ(L): 29.70cm

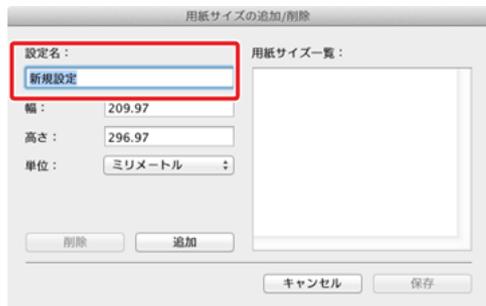
単位(U): センチメートル

[登録(R)] [閉じる(C)]

Mac

用紙サイズに登録されていない原稿は、以下の設定を行うことにより読み取ることができるようになります。

非定型サイズの原稿をスキャンするときは、[用紙サイズ] で [追加 / 削除] を選択して [用紙サイズの追加 / 削除] ダイアログボックスを表示させます。[用紙サイズ] に登録されていない用紙サイズを、名前を付けて登録できます。

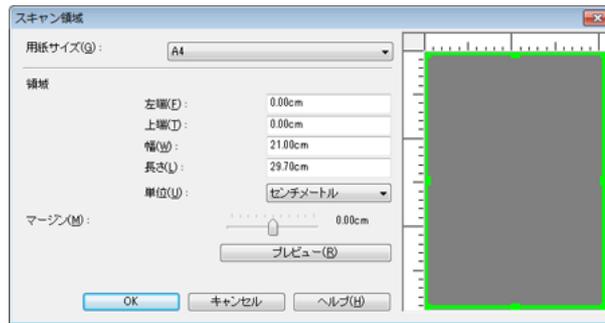


スキャン領域を指定したい

###HOME > 第8章 目的別にスキャンする > スキャン領域を指定したい ###

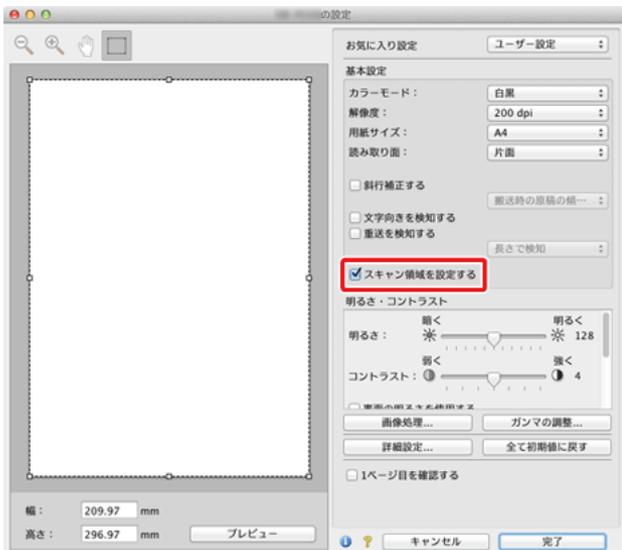
Windows

原稿の一部の領域を指定してスキャンするときは、[基本] タブの [領域] ボタンから開くスキャン領域ダイアログボックスで、領域を指定します。



Mac

原稿の一部の領域を指定してスキャンするときは、「[スキャン領域を設定する]」をオンにして、領域を指定します。



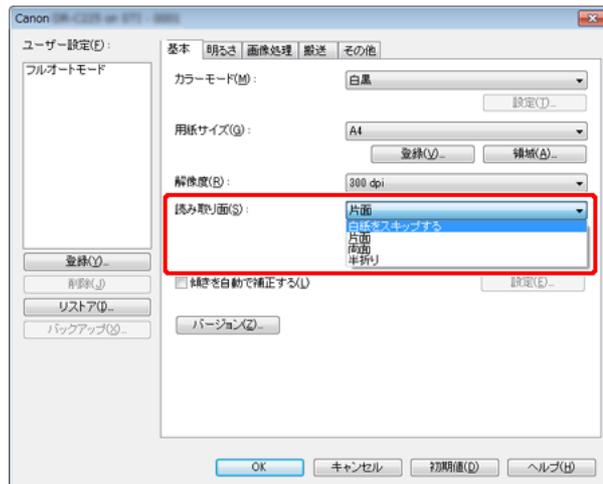
また、「[1 ページ目を確認する]」をオンにしてスキャンすると、原稿が 1 枚だけスキャンされ、そのスキャン画像がプレビューウィンドウに表示されます。

両面原稿の中にある白紙ページの画像を削除したい

###HOME > 第 8 章 目的別にスキャンする > 両面原稿の中にある白紙ページの画像を削除したい ###

Windows

[基本] タブにある読み取り面の設定を「白紙をスキップする」にしてスキャンすると、原稿内にある白紙のページの画像が削除されます。



[白紙をスキップする] を選択すると [設定] ボタンが有効になり、白紙と判断するレベルを調整できます。



Mac

読み取り面の設定を「白紙をスキップする」にしてスキャンすると、原稿内にある白紙のページの画像が削除されます。



「白紙をスキップする」を選択すると、白紙と判断するレベルが調整できます。

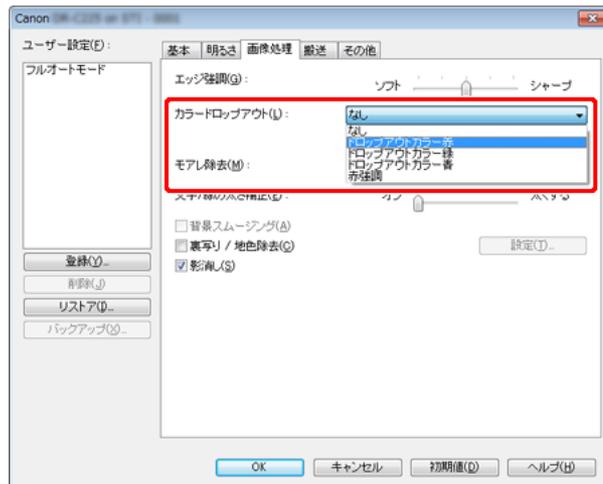


色の付いた罫線や文字をスキャンしないようにしたい

###HOME > 第8章 目的別にスキャンする > 色の付いた罫線や文字をスキャンしないようにしたい ###

Windows

「画像処理」タブにあるカラードロップアウトの設定でドロップアウトさせる色（赤、青、緑）を指定すると、指定した色がスキャンされません。



Mac

[画像処理] をクリックし、表示されるダイアログボックスでドロップアウトさせる色（赤、青、緑）を指定すると、指定した色がスキャンされません。

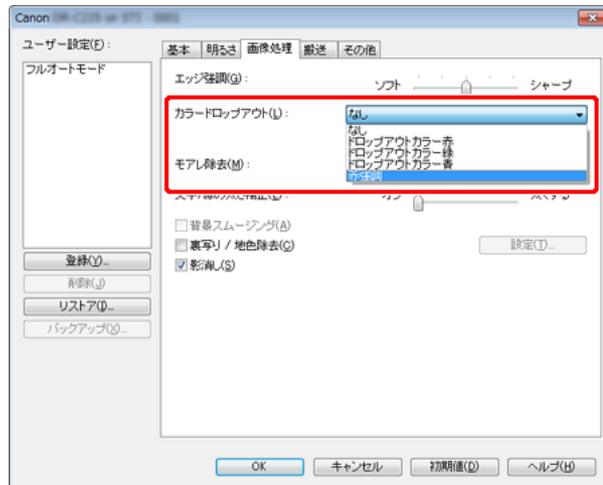


赤を強調させたい

###HOME > 第8章 目的別にスキャンする > 赤を強調させたい ###

Windows

[画像処理] タブの [カラードロップアウト] で [赤強調] を指定すると、原稿上の赤い色の部分が強調されます。



Mac

[画像処理] をクリックし、表示されるダイアログボックスの [カラードロップアウト] で [赤強調] を指定すると、原稿上の赤い色の部分が強調されます。

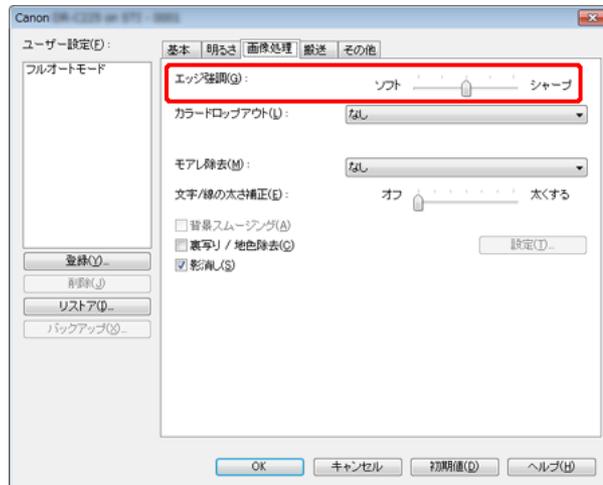


画像の輪郭をはっきりさせたい

###HOME > 第8章 目的別にスキャンする > 画像の輪郭をはっきりさせたい ###

Windows

[画像処理] タブでエッジ強調の設定を調整します。



Mac

[画像処理] をクリックし、表示されるダイアログボックスでエッジ強調の設定を調整します。

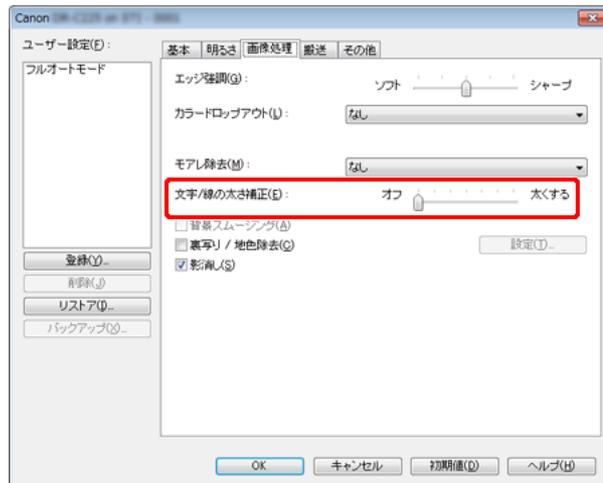


スキャン画像の文字や線を太くしたい

###HOME > 第8章 目的別にスキャンする > スキャン画像の文字や線を太くしたい ###

Windows

[画像処理] タブの [文字 / 線の太さ補正] にあるスライダーをドラッグして、スキャン画像の線や文字を太くすることができます。



Mac

「画像処理」をクリックし、表示されるダイアログボックスで文字 / 線の太さ補正の設定を調整します。

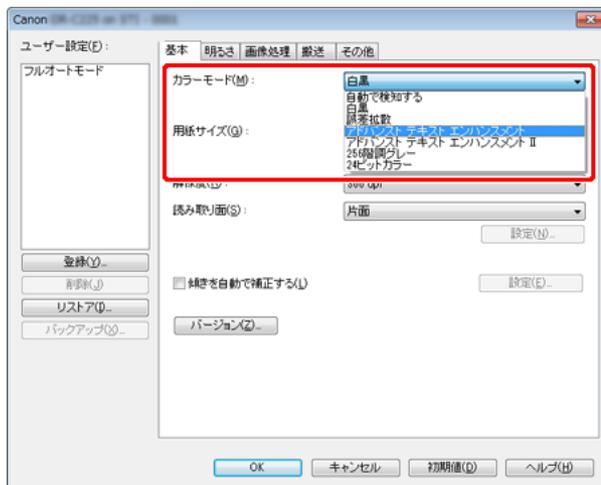


背景などで文字が読みづらい原稿をスキャンしたときに文字をはっきりさせたい

###HOME > 第8章 目的別にスキャンする > 背景などで文字が読みづらい原稿をスキャンしたときに文字をはっきりさせたい ###

Windows

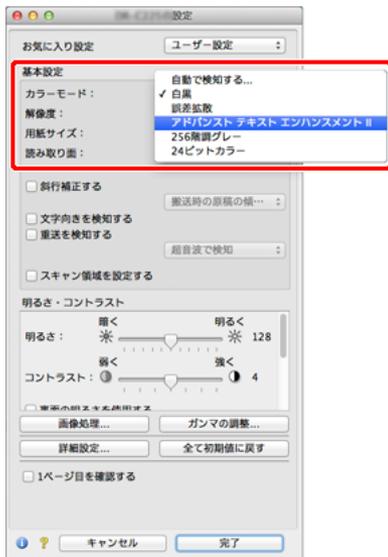
【基本】タブにあるモードの設定で「アドバンスドテキストエンハンスメント」または「アドバンスドテキストエンハンスメントII」を選択します。文字の背景を除去または処理して、文字を強調して読みやすくします。



- 「アドバンスドテキストエンハンスメント」は、背景色が薄い原稿や、背景が（模様があるなど）均でない原稿に適しています。背景が均一の場合は文字の周りの背景が除去され、背景が均でない場合は文字が読みやすくなるように背景を処理します。
- 「アドバンスドテキストエンハンスメントII」は、背景色が均一で、文字や背景が薄い原稿の読み取りに適しています。背景が模様など均でない原稿は、背景が完全に除去されず文字が読みにくくなる場合があります。必要に応じて「明るさ」タブでコントラストを調整することで、スキャン画像の文字を読みやすくなります。

Mac

[カラーモード] の設定で [アドバンスドテキストエンハンスメント II] を選択します。文字の背景を除去または処理して、文字を強調して読みやすくします。

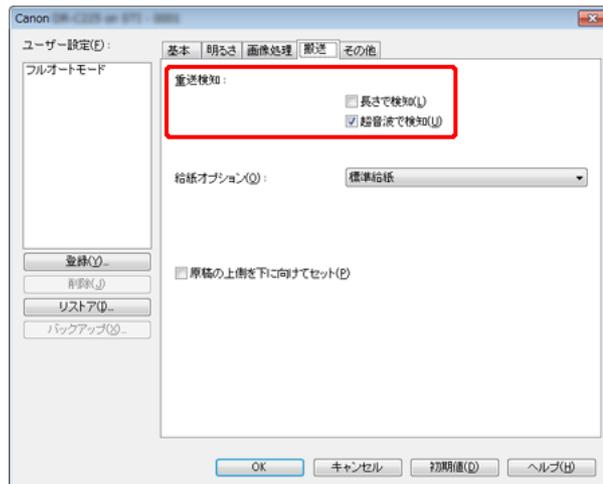


原稿が複数枚重なって給紙されるのを検知したい

###HOME > 第8章 目的別にスキャンする > 原稿が複数枚重なって給紙されるのを検知したい ###

Windows

[搬送] タブの [重送検知] のチェックボックスをオンにします。[超音波で検知] と [長さで検知] のどちらか、または両方を有効にできます。



Mac

[重送を検知する] チェックボックスをオンにしてから、[超音波で検知]、[長さで検知]、[超音波と長さで検知] のいずれかを選択します。



メモ

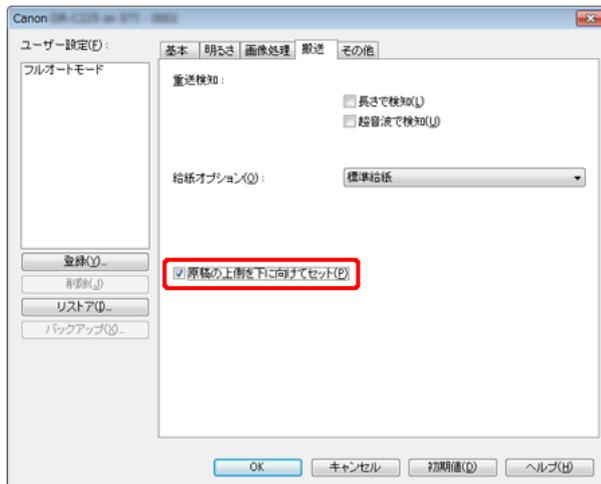
[超音波で検知] または [超音波と長さで検知] を選択にしても、原稿のサイズが小さいと重送が検知されないことがあります。

原稿の上側を下に向けてセットしてスキャンしたい

###HOME > 第8章 目的別にスキャンする > 原稿の上側を下に向けてセットしてスキャンしたい ###

Windows

スキャナーにセットする原稿の向きを逆にする（原稿の上側を下に向けて）には、[搬送] タブの [原稿の上側を下に向けてセット] をオンにします。



Mac

スキャナーにセットする原稿の向きを逆にする（原稿の上側を下に向け）には、[詳細設定] をクリックし、表示されるダイアログボックスの [原稿の上側を下に向けてセット] をオンにします。

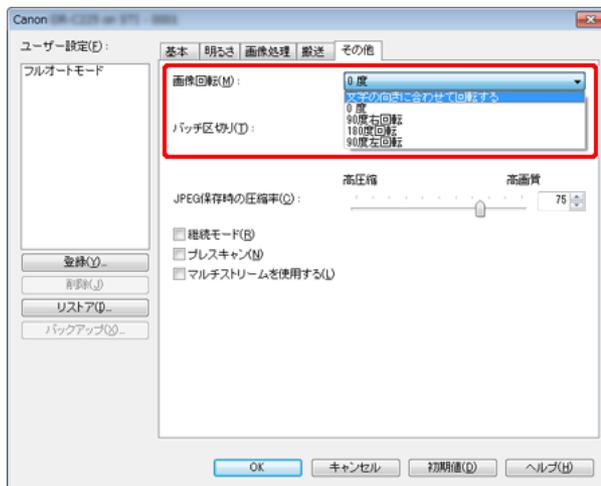


文字の向きが異なる原稿が混在しているときに 画像の向きを文字に合わせてそろえたい

###HOME > 第8章 目的別にスキャンする > 文字の向きが異なる原稿が混在しているときに画像の向きを文字に合わせてそろえたい ###

Windows

[その他] タブにある [画像回転] で [文字の向きに合わせて回転する] を選択します。原稿内の文字を検知して文字の向きが正しくなるように、スキャン画像が 90 度単位で回転されます。



Mac

「文字向きを検知する」をチェックします。原稿内の文字の向きを検知して文字の向きが正しくなるように、スキャン画像が90度単位で回転されます。



メモ

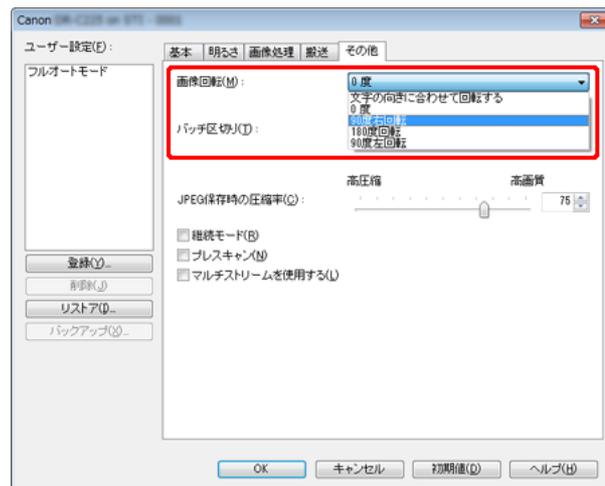
「文字向きを検知する」をチェックしているときは、「画像回転」は使用できません。

横向きにセットした原稿の画像が正しくなるように回転させたい

###HOME > 第8章 目的別にスキャンする > 横向きにセットした原稿の画像が正しくなるように回転させたい ###

Windows

「その他」タブにある「画像回転」で回転させる角度を指定します。



Mac

[画像処理] をクリックし、表示されるダイアログボックスで [画像回転] で回転させる角度を指定します。

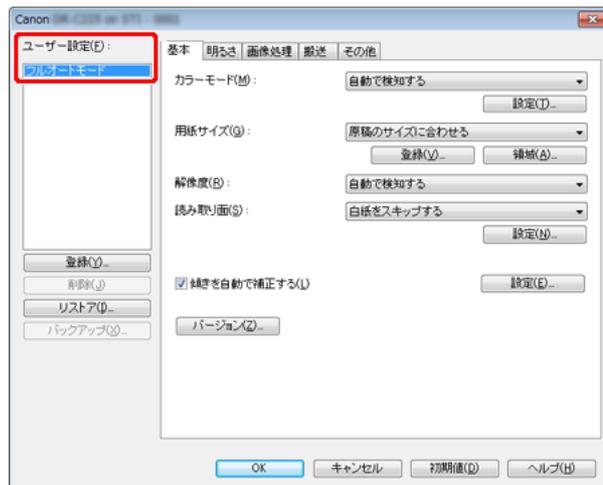


スキャン条件を自動的に設定してスキャンしたい

###HOME > 第8章 目的別にスキャンする > スキャン条件を自動的に設定してスキャンしたい ###

Windows

[ユーザー設定] の [フルオートモード] を選択すると、原稿に合わせたスキャン条件でスキャンされます。



Mac

【お気に入り設定】の【フルオートモード】を選択すると、原稿に合わせたスキャン条件でスキャンされます。



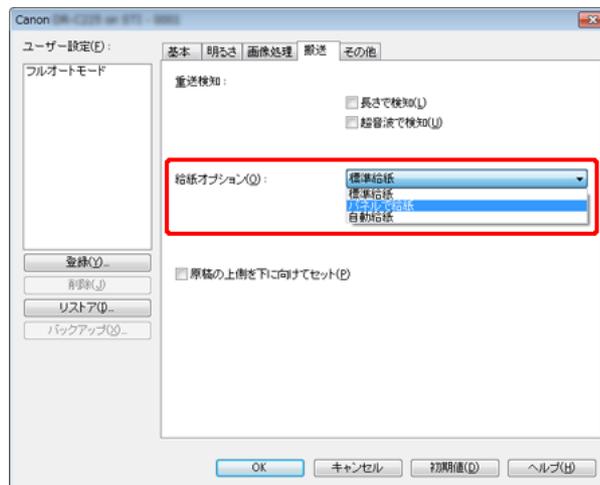
バッチ区切りでスキャンしたい

###HOME > 第8章 目的別にスキャンする > バッチ区切りでスキャンしたい ###

Windows

原稿を複数の束に分けてスキャンするときに、続きの原稿をセットしてスキャンするタイミングでバッチを区切ることができます。この場合はスキャナードライバーを次のように設定します。

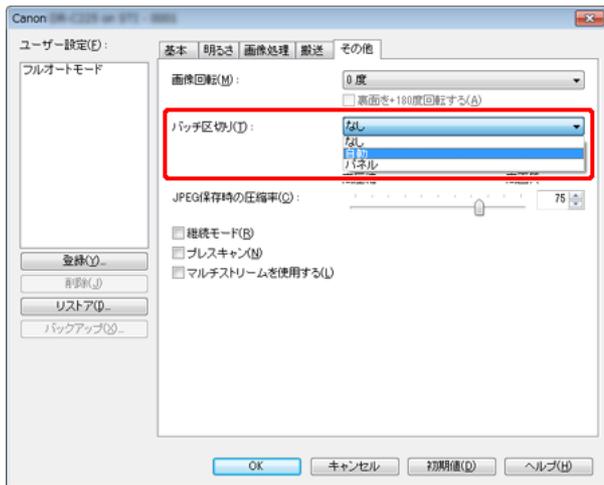
- 【搬送】タブの【給紙オプション】を【パネルで給紙】または【自動給紙】に設定します。



メモ

フルオートモードを選択したときは、【カラーモード】と【用紙サイズ】、【解像度】がすべて自動検知になります。また、【読み取り面】の設定が【白紙をスキップする】になり、【画像回転】が【文字の向きに合わせて回転する】になります。

- [その他] タブの [バッチ区切り] を [自動] または [パネル] に設定します。



[バッチ区切り] を [自動] に設定したときは、続きの原稿をセットしてスキャンを継続したときにバッチが区切られます。[パネル] を設定したときは、「スキャンパネル」(P.80) の [バッチ区切り] チェックボックスをオンにしてからスキャンを継続したときにバッチが区切られます。



メモ

この機能は、バッチ区切りに対応したアプリケーションソフトでのみ有効です。

マルチストリーム設定でスキャンしたい

###HOME > 第8章 目的別にスキャンする > マルチストリーム設定でスキャンしたい ###

Windows

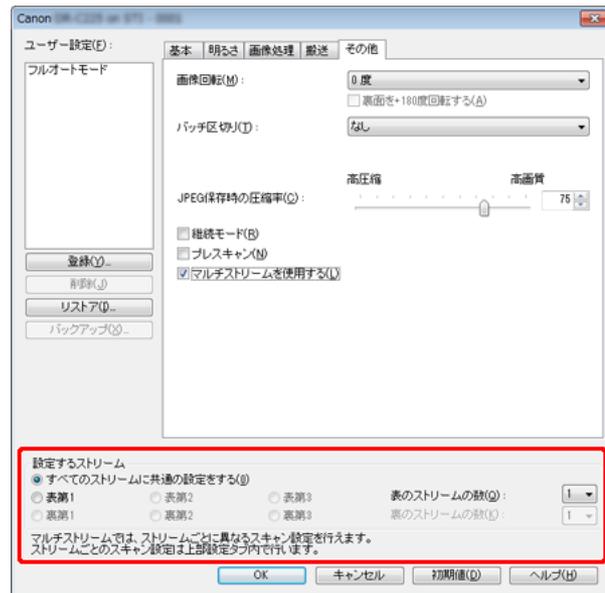
1 回のスキャン操作で複数の異なるスキャン画像を出力したり、表面と裏面ごとにスキャン条件が異なるスキャン画像を出力できます(マルチストリーム設定)。



メモ

- マルチストリーム設定は Windows でのみ使用できます。
- アプリケーションによっては、この設定項目は表示されません。

マルチストリーム設定を使用してスキャンするときは、[その他] タブの [マルチストリームを使用する] チェックボックスをオンにし、マルチストリームに関する設定項目を表示させ、次の順に設定します。



- (1) 原稿の表面と裏面ごとに異なるスキャン条件を指定するときは、あらかじめ【基本】タブの【読み取り面】で【白紙をスキップする】または【両面】を選択します。
- (2) 【表のストリームの数】で、適用するスキャン条件の数を指定します。3つまで指定できます。
- (3) 【表第 1】を選択し、他のタブを開いてスキャン条件を設定します。【表のストリームの数】で指定した数に応じて、残りの【表第 2】、【表第 3】も同様に設定します。
- (4) 裏面のスキャン条件を指定するときは、手順 (1) ~ (3) と同様に設定します。この場合、【裏のストリームの数】を指定してから、【裏第 1】 ~ 【裏第 3】のそれぞれに対してスキャン条件を設定します。



メモ

マルチストリーム設定での設定が可能なスキャン条件は次のとおりです。

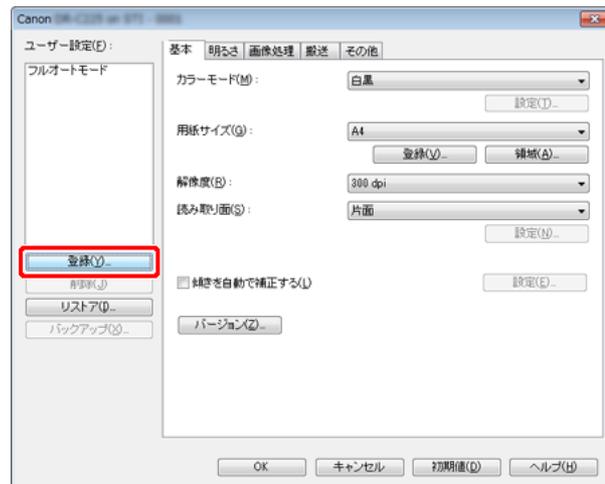
タブ	設定が可能な項目
【基本】タブ	【カラーモード】および【解像度】（どちらも【自動で検知する】を除く）
【明るさ】タブ	【明るさ】および【コントラスト】
【画像処理】タブ	【エッジ強調】、【カラードロップアウト】および【文字 / 線の太さ補正】
【搬送】タブ	なし（すべて無効）
【その他】タブ	なし（【マルチストリームを使用する】のみ有効）

スキャナードライバーの設定を保存したい

###HOME > 第 8 章 目的別にスキャンする > スキャナードライバーの設定を保存したい ###

Windows

設定が終わったときに、【ユーザー設定】の【登録】ボタンをクリックして設定内容を保存できます。



保存した設定内容は、一覧に登録されます。【削除】ボタンで一覧から削除したり、【リストア】または【バックアップ】ボタンで設定内容をファイルに保存したり読み込むことができます。



メモ

あらかじめ登録されている【フルオートモード】は、【ユーザー設定】から削除できません。

Mac

設定が終わったときに、[お気に入り設定] の [追加 / 削除] を選択して設定内容を保存できます。



[追加] ボタンをクリックすると、現在の設定内容が [お気に入り設定一覧] に登録されます。[削除] ボタンで一覧から削除できます。



メモ

あらかじめ登録されている [フルオートモード] は、[お気に入り設定一覧] から削除できません。

スキャンパネル

###HOME > 第8章 目的別にスキャンする > スキャンパネル ###

スキャンパネルは、複数の原稿を続けてスキャンするときに、原稿の給紙やスキャンの停止などの制御するためのソフトウェアです。

Windows

スキャンパネルは、スキャナードライバーの設定ダイアログボックスで、[給紙オプション] の設定を [パネルで給紙] または [自動給紙] にしたときに操作します。この場合、スキャンの動作をしていないときに、スキャンパネルが表示され、スキャナーが待機状態になります。



次の原稿をセットしてから、スキャンパネルのスタートボタンをクリックすると、セットされた原稿のスキャンが開始します。

スキャンパネルの [ストップ] ボタンをクリックすると、スキャンを途中で停止できます。



メモ

[その他] タブの [バッチ区切り] を [パネル] に設定しているときは、スキャンパネルの [バッチ区切り] をオンにしてから [スタート] をクリックすることで、バッチを区切ることができます。

Mac

スキャナードライバーの設定画面で【詳細設定】をクリックし、表示されるダイアログボックスの【給紙オプション】を【パネルで給紙】または【自動給紙】にした場合に、スキャンを開始するとスキャンパネルが表示されます。



1 つめの原稿のスキャンが終わるとスキャンパネルが表示され、スキャナーが待機状態になります。次の原稿をセットしてから【続けてスキャン】をクリックすると、セットされた原稿のスキャンが開始します。

【完了】をクリックすると、スキャンを途中で停止できます。

第9章 日常のお手入れ

###HOME > 第9章 日常のお手入れ ###

読み取り品質を維持するために、以下のような日常の清掃とメンテナンスを行ってください。

本体の清掃	82
読み取りガラスとローラーの清掃	83
縮率調整	85

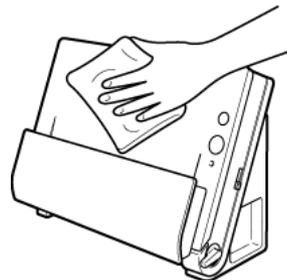
! 注意

- 本体および内部の清掃を行うときは、安全のため、必ず給紙トレイを閉じて電源を切り、USB ケーブルをコンセントから抜いてから清掃を行ってください。
- 清掃の際、スプレー容器は使用しないでください。光源などの精密機器が濡れて破損する恐れがあります。
- シンナーやアルコールなどの有機溶剤は決して使用しないでください。外装が変形、変色したり、溶解する恐れがあります。また、火災や感電の原因になることもあります。

本体の清掃

###HOME > 第9章 日常のお手入れ > 本体の清掃 ###

本体表面は、水を染み込ませ固くしぼった布で汚れを落としたあと、きれいな乾いた布で拭きます。



本体内部の清掃

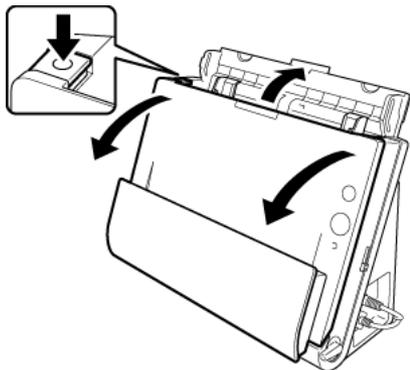
本体内部にほこりや紙粉がたまると、スキャンした画像にすじが入る原因になります。本体内部にたまったほこりや紙粉は、ブローアなどを使って定期的に取り除いてください。また、大量の原稿をスキャンしたときなどは、スキャナーの電源を切った後に紙粉の除去を行ってください。

読み取りガラスとローラーの清掃

###HOME > 第9章 日常のお手入れ > 読み取りガラスとローラーの清掃 ###

スキャンした画像にすじが入ったり、スキャンした原稿が汚れていたりする場合には、本体内部にある読み取りガラスやローラーが汚れている可能性があります。定期的に清掃してください。

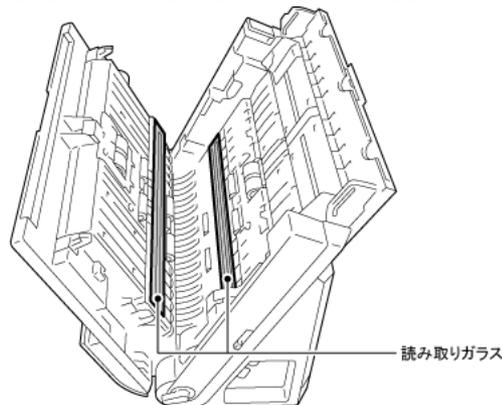
- 1 給紙トレイを開き、OPEN ボタンを押して前ユニットを手前に開きます。



- 2 ブロアーなどを使って、本体内部にたまったほこりや紙粉を取り除きます。

- 3 読み取りガラスの汚れを拭き取ります。

読み取りガラスは、水を含ませて固くしぼった布で拭いて汚れを取り除いたあと、きれいな乾いたやわらかい布で拭いてください。



注意

水や中性洗剤を直接スプレーしないでください。光源などの精密機器が破損する恐れがあります。

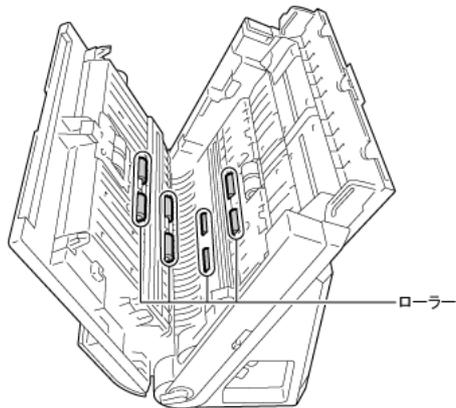


お願い

読み取りガラスにキズがあるとスキャンした画像にすじが入ったり、搬送エラーの原因になります。読み取りガラスにキズがあるようなときは、お買い求めの販売店にご相談ください。

4 ローラーを清掃します。

ローラーは、水を含ませて固くしぼった布で拭いて汚れを取り除いたあと、きれいな乾いたやわらかい布で拭いてください。



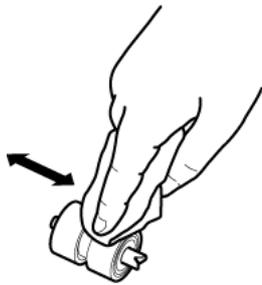
5 給紙ローラーと分離ローラーを取り外します。(→ P.90、P.91)



お願い

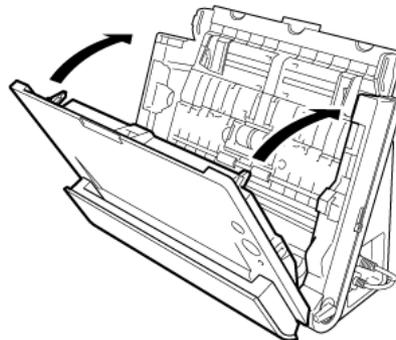
給紙ローラーと分離ローラーは、本体から取り外して清掃し、清掃が終わったら本体に戻してください。

6 水を含ませて固くしぼった布で、取り外したローラーの汚れを拭きとります。

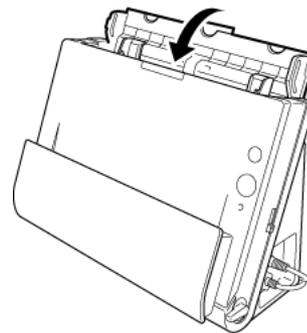


7 取り外したローラーを取り付けます。(→ P.90、P.91)

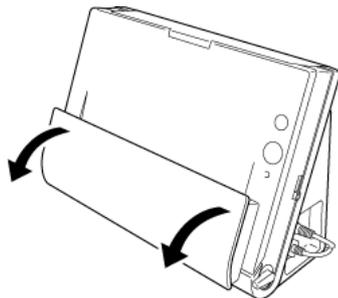
8 前ユニット上部の左右をゆっくり押します。カチッと音がして確実に元の位置に戻ったことを確認します。



9 給紙トレイを閉じます。

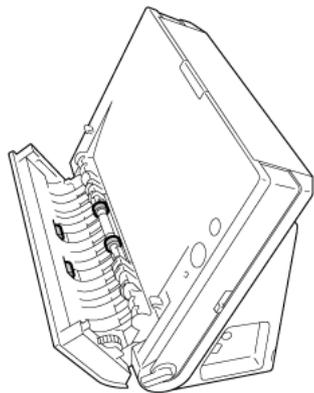


10 排紙ポケットを開きます。

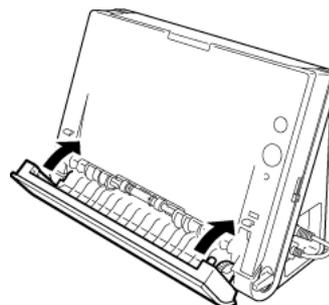


11 排紙ポケット内部のローラーを清掃します。

ローラーは、水を含ませて固くしぼった布で拭いて汚れを取り除いたら、きれいな乾いたやわらかい布で拭いてください。



12 排紙ポケットを閉じます。



縮率調整

###HOME > 第9章 日常のお手入れ > 縮率調整 ###

スキャナー内部に取り付けられているローラーが磨耗すると、スキャン画像が縦方向に伸張されるようになります。この場合は、縮率調整によって画像の伸張を抑えることができます。

Windows

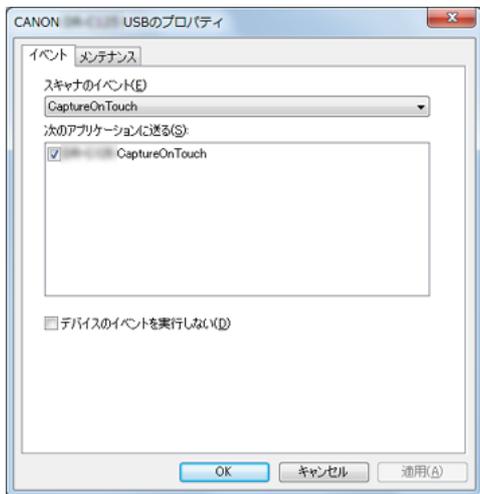
- 1 Windows を起動し、管理者権限を持つユーザーとしてログオンします。
- 2 スタートボタンをクリックし、[すべてのプログラム]、[Canon DR-C225]、[Canon imageFORMULA ユーティリティ] の順にクリックします。

imageFORMULA ユーティリティが起動します。



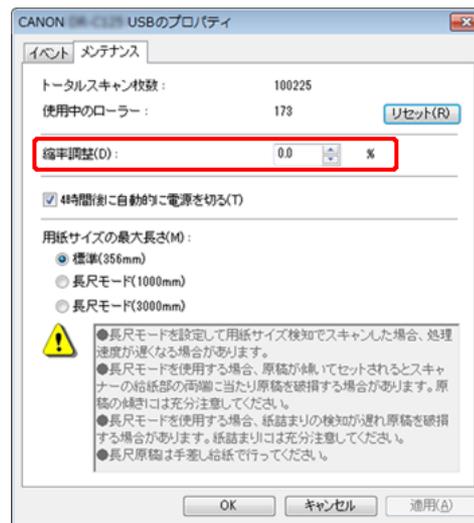
- 3 [CANON DR-C225 USB] をクリックし、プロパティをクリックします。

スキャナーのプロパティが表示されます。



(機種によっては、[イベント] タブは表示されません。)

- 4 [メンテナンス] タブをクリックし、[縮率調整] の値を変更します。調整値は -3.0% から 3.0% の範囲で設定できます。



- 5 [OK] をクリックしてスキャナーのプロパティを閉じます。

Mac

- 1 スキャナードライバーの設定画面を開きます。→「スキャンモードの設定」(P.46)
- 2 [詳細設定ダイアログボックスを使う] を有効にしてから、[設定] ボタンをクリックします。
スキャナードライバーの設定画面が開きます。

3 ⓘ (情報ボタン) をクリックします。

[スキャナーの情報] ダイアログボックスが開きます。



4 [メンテナンス] をクリックします。

[メンテナンス] ダイアログボックスが開きます。

5 [縮率調整] の値を変更します。

調整値は -3.0% から 3.0% の範囲で設定できます。



6 ⓘ をクリックしてダイアログボックスを閉じます。

第 10 章 消耗品の交換

###HOME > 第 10 章 消耗品の交換 ###

分離パッドの交換の際は、手順に従って分離パッドの取り外し、取り付けを行ってください。

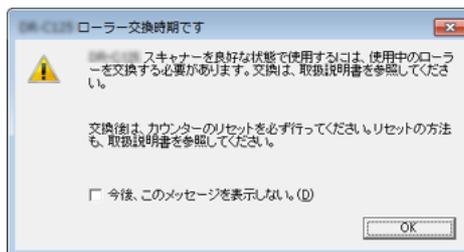
消耗品の交換時期.....	88
前ユニットの開閉.....	89
給紙ローラーの交換.....	90
分離ローラーの交換.....	91
カウンターのリセット.....	91
自動電源オフ設定.....	93

消耗品の交換時期

###HOME > 第 10 章 消耗品の交換 > 消耗品の交換時期 ###

スキャナー内部に取り付けられている 2 つのローラー（給紙ローラーと分離ローラー）は消耗品です。スキャンを重ねるにつれて磨耗します。ローラーが磨耗すると、原稿を正常に給紙できなくなり、紙詰まりや重送の原因となります。

搬送枚数（スキャナーで給紙した原稿の総ページ数）が 10 万枚を超えると、コンピューターの起動時にローラーの交換を求めるメッセージ画面が表示されます。



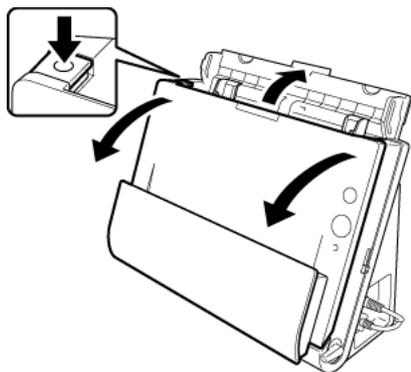
このメッセージ画面が表示されるようになったら、交換ローラーキットをお買い求めのうえ、キットに含まれる消耗品（給紙ローラーと分離ローラー）に交換してください。交換ローラーキットについては「交換ローラーキット（商品コード：5484B001）」(P.107) を参照してください。

また、ローラーを交換したときは、スキャナー内部に記録されているカウンターもリセットする必要があります。（「カウンターのリセット」(P.91)）

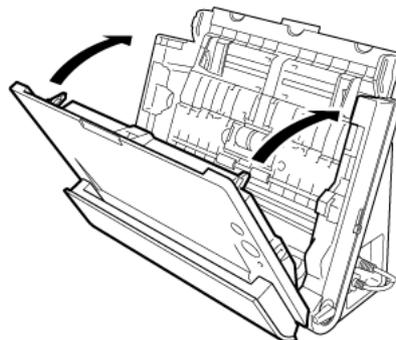
前ユニットの開閉

###HOME > 第 10 章 消耗品の交換 > 前ユニットの開閉 ###

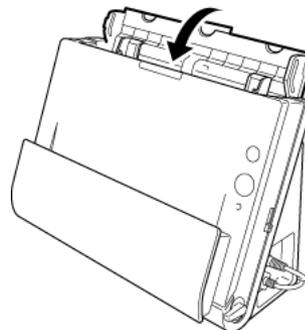
- 1 給紙トレイを開き、OPEN ボタンを押して前ユニットを手前に開きます。



- 2 前ユニットを閉じるときは、左右を静かに押しながら、カチッと音がするまで確実に閉じます。

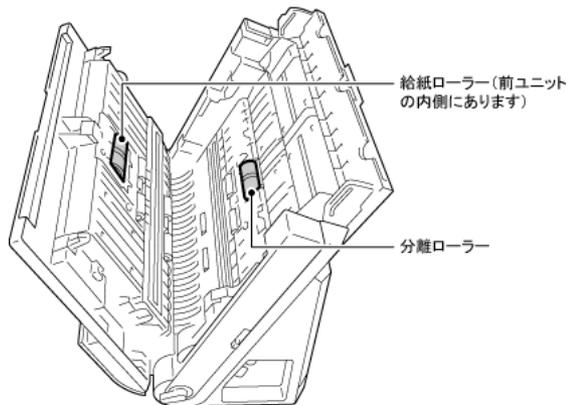


- 3 給紙トレイを閉じます。



メモ

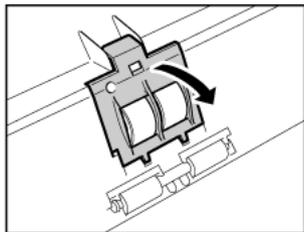
交換する消耗品は、それぞれ下記の場所にあります。



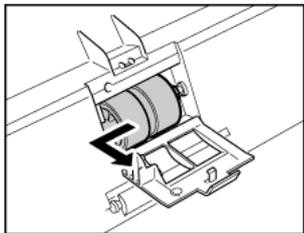
給紙ローラーの交換

###HOME > 第 10 章 消耗品の交換 > 給紙ローラーの交換 ###

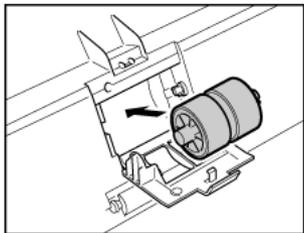
- 1 ローラーカバーを開きます。



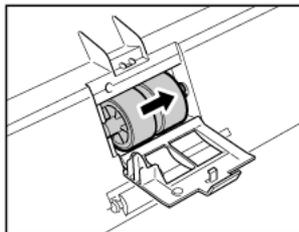
- 2 給紙ローラーを左にスライドさせてから、取り外します。



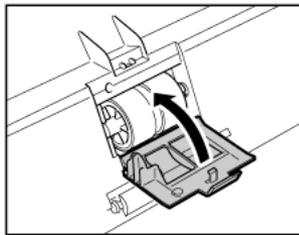
- 3 新しい給紙ローラーを取り付けます。このとき、ローラーの切り欠き部を前ユニットの軸に合わせてください。



- 4 ローラーを右にスライドさせて取り付けます。



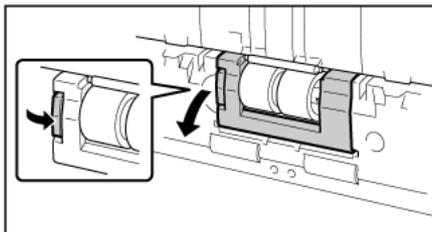
- 5 ローラーカバーを、カチッと音がするまで確実に閉じます。



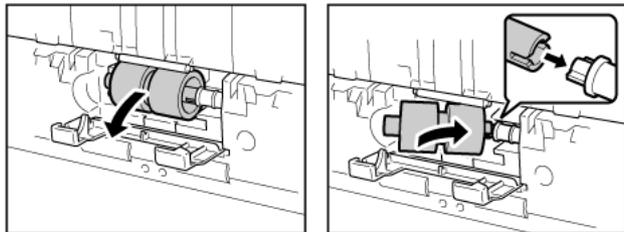
分離ローラーの交換

###HOME > 第 10 章 消耗品の交換 > 分離ローラーの交換 ###

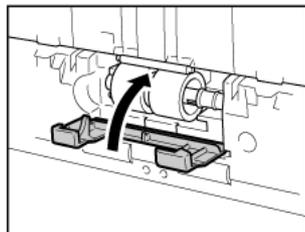
- 1 ローラーカバーを開きます。



- 2 分離ローラーを取り外し、新しい分離ローラーを取り付けます。このとき、ローラーの切り欠き部を本体側の軸に合わせてください。



- 3 ローラーカバーを、カチッと音がするまで確実に閉じます。



カウンターのリセット

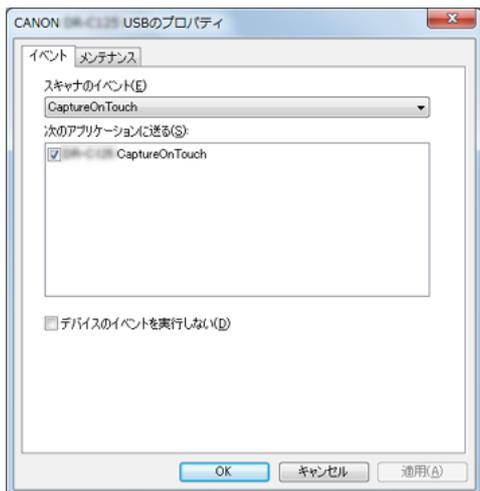
###HOME > 第 10 章 消耗品の交換 > カウンターのリセット ###

Windows

- 1 Windows を起動し、管理者権限を持つユーザーとしてログオンします。
- 2 スタートボタンをクリックし、[すべてのプログラム]、[Canon DR-G225]、[Canon imageFORMULA ユーティリティ] の順にクリックします。
imageFORMULA ユーティリティが起動します。

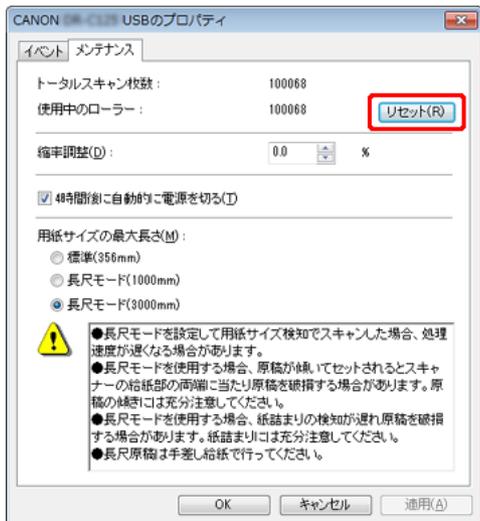


- 3 [Canon DR-C225 USB] をクリックし、プロパティをクリックします。
 スキャナーのプロパティが表示されます。



(機種によっては、[イベント] タブは表示されません。)

- 4 [メンテナンス] タブをクリックし、[リセット] をクリックします。



[使用中のローラー] のカウンター値がリセットされます。

- 5 [OK] をクリックしてスキャナーのプロパティを閉じます。

Mac

- 1 スキャナードライバーの設定画面を開きます。→「スキャンモードの設定」(P.46)
- 2 [詳細設定ダイアログボックスを使う] を有効にしてから、[設定] ボタンをクリックします。
 スキャナードライバーの設定画面が開きます。
- 3 ⓘ (情報ボタン) をクリックします。
 [スキャナーの情報] ダイアログボックスが開きます。



- 4 [メンテナンス] をクリックします。
 [メンテナンス] ダイアログボックスが開きます。

5 [リセット] をクリックします。



6  をクリックしてダイアログボックスを閉じます。

自動電源オフ設定

###HOME > 第 10 章 消耗品の交換 > 自動電源オフ設定 ###

Windows

本製品は、スキャンなどの操作をしないまま 4 時間経過すると自動的に電源がオフになります。

この設定を無効にするには、次の手順に従います。



メモ

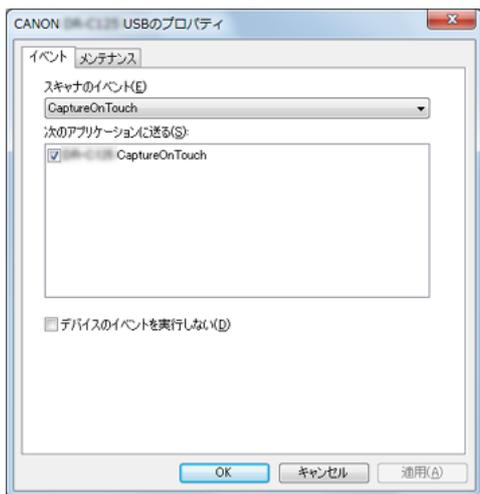
自動電源オフ設定は、Windows でのみ可能です。

- 1 Windows を起動し、管理者権限を持つユーザーとしてログオンします。
- 2 スタートボタンをクリックし、[すべてのプログラム]、[Canon DR-G225]、[Canon imageFORMULA ユーティリティ] の順にクリックします。

imageFORMULA ユーティリティが起動します。

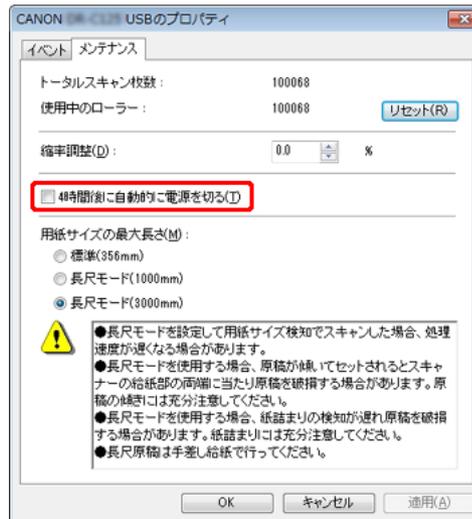


- 3 [Canon DR-C225 USB] をクリックし、プロパティをクリックします。
スキャナーのプロパティが表示されます。



(機種によっては、[イベント] タブは表示されません。)

- 4 [メンテナンス] タブをクリックし、[4 時間後に自動的に電源を切る] チェックボックスをオフにします。



- 5 [OK] をクリックしてスキャナーのプロパティを閉じます。

第 11 章 ソフトウェアをアンインストールする

###HOME > 第 11 章 ソフトウェアをアンインストールする ###

スキャナードライバー、CaptureOnTouch が正常に動作しないようなときは、以下の手順でソフトウェアをアンインストールしてください。そして、セットアップディスクを使ってソフトウェアを再インストールしてください。→ソフトウェアのインストール (→ P.14)

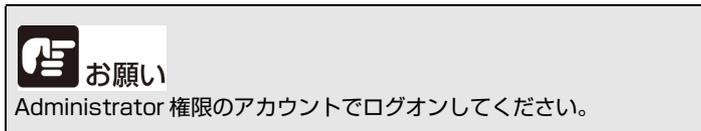
アンインストール方法95

アンインストール方法

###HOME > 第 11 章 ソフトウェアをアンインストールする > アンインストール方法 ###

→ Windows

→ Mac



Windows

- 1 [スタート] ボタンをクリックし、[コントロールパネル] をクリックします。
- 2 [プログラムのアンインストール] をクリックします。
[プログラムのアンインストール] ダイアログボックスが表示されます。
- 3 プログラムの一覧から、削除するソフトウェア名をクリックし、[アンインストール] をクリックします。
選択されたソフトウェアの削除を確認するメッセージ画面が表示されます。
- 4 [はい] をクリックします。
これでソフトウェアのアンインストールは完了です。

Mac

OS X/macOS 用ドライバーには、アンインストーラーはありません。アンインストールするには、下記のファイルを Finder などで削除してください。

/Library (ライブラリ)/Image Capture/TWAIN Data Sources/
DRC225.ds

/Applications (アプリケーション)/CaptureOnTouch

第 12 章 トラブルシューティング

###HOME > 第 12 章 トラブルシューティング ###

紙づまりの処理.....	97
お問い合わせの多いトラブル.....	100
ソフトウェアの操作で困ったときは.....	102
役立つヒント集.....	103

紙づまりの処理

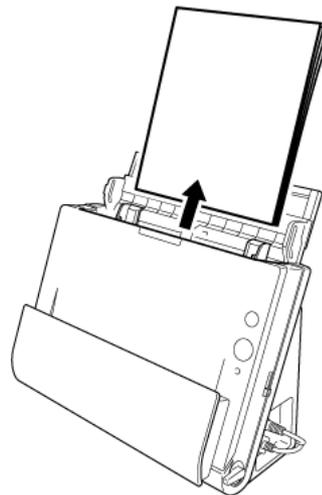
###HOME > 「第 12 章 トラブルシューティング」> 紙づまりの処理 ###

原稿をスキャン中に紙づまりが発生したら、以下の手順に従って処理します。

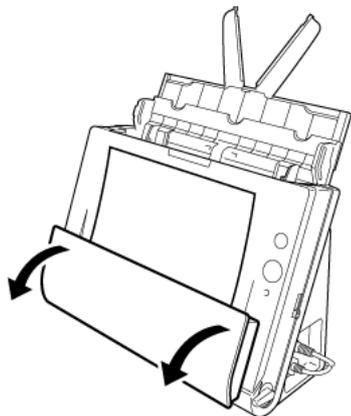


つまった紙を取り除くときは慎重に取り除いてください。紙の端で手を切るなど思わぬけがをすることがあります。

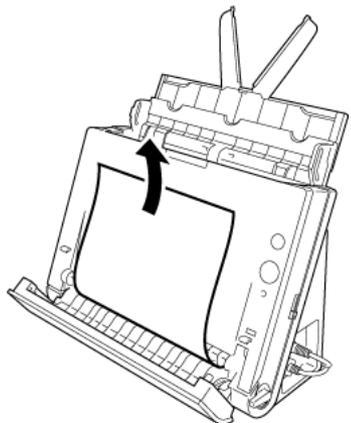
- 1 給紙トレイに残っている原稿を取り除きます。



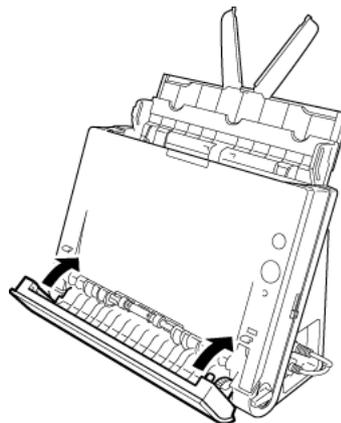
2 排紙側に原稿が詰まっているときは、排紙ポケットを開きます。



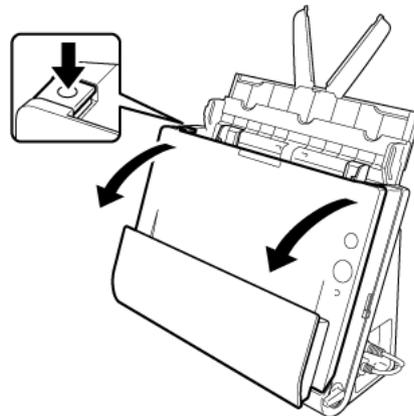
3 詰まった原稿を取り除きます。



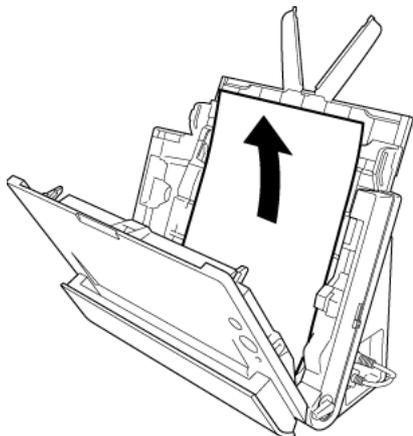
4 排紙ポケットを元の位置に戻します。カチッと音がして確実に固定されたことを確認します。



5 OPEN ボタンを押して、前ユニットを手前に開きます。



6 詰まった原稿を取り除きます。



処理が終わったら、最後の原稿が記録されているかどうかを確認し、作業を続けてください。



メモ

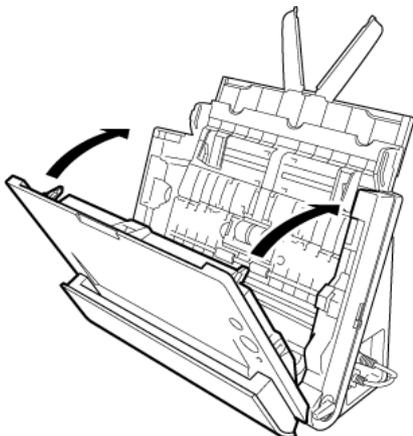
スキャナードライバーの設定画面で[継続モード]チェックボックスをオンにすると、紙づまりなどによってスキャン中に搬送が停止した場合に、正常にスキャンされた最後の画像を処理してからスキャンが中断しますので、搬送停止の原因をクリアしてからスキャンを継続できます。この場合、搬送が途中で停止した原稿の画像は保存されていないことがありますので、記録されている最後の原稿を確認してからスキャンし直してください。



お願い

原稿は無理に引っ張らず、慎重に取り除いてください。万一、原稿が破れてしまった場合は、残りの紙片も必ず取り除いてください。

7 前ユニット上部の左右をゆっくり押します。カチッと音がして確実に元の位置に戻ったことを確認します。



お問い合わせの多いトラブル

###HOME > 「第 12 章 トラブルシューティング」> お問い合わせの多いトラブル ###

ここでは、お問い合わせの多いトラブルについて、その対処方法を説明しています。

問題が解決しないときは、お買い求めの販売店またはサービス窓口にご相談ください。

Q1 電源が入らない。

A1 ACアダプターの電源プラグが確実にコンセントに接続されていることを確認してください。

Q2 スキャナーが認識されない。

- A2
- 1 スキャナーとコンピューターが USB ケーブルで正しく接続されていることを確認してください。
 - 2 スキャナーの電源が入っていることを確認してください。この前の「Q1. 電源が入らない」も参照してください。
 - 3 コンピューターの USB インターフェイスがスキャナーに対応していない可能性があります。本製品は、すべての USB インターフェイスでの動作を保証していません。
 - 4 付属の USB ケーブルでスキャナーとコンピューターを接続していることを確認してください。市販の USB ケーブルによっては、スキャナーに対応していないことがあります。
 - 5 USB HUB を経由してスキャナーとコンピューターを接続している場合は、USB HUB を取り外し、スキャナーとコンピューターを直接接続してください。
 - 6 DR-C225W II の場合、背面のワイヤレススイッチがオフになっていることを確認してください。

Q3 原稿が斜めに給紙される（スキャン画像が斜めになる）。

- A3
- 1 原稿ガイドをできるだけ原稿にぴったりと合わせて、まっすぐ給紙されるように原稿をセットしてください。
 - 2 スキャナードライバーの設定で「傾きを自動で補正する」（または「斜行補正する」）を有効にしてください。
 - 3 すでに大量の枚数をスキャンしている場合は、ローラーを清掃してください。それでも原稿が斜めに給紙される場合は、ローラー交換などのメンテナンスが必要です。ローラーの清掃および交換については「第 9 章 日常のお手入れ」(P.82) を参照してください。

Q4 スキャン画像に白線 / すじが発生する。

A4 読み取りガラス（表面と裏面の両方とも）やローラーを清掃してください。糊や修正液など粘着性のある汚れを清掃するときは、線の現れる場所をやや強めに拭いてみてください。清掃後も問題が解決しない場合は、内部ガラスにキズが付いている可能性があります。お買い上げの販売店または担当サービス窓口にお問い合わせください。

Q5 ページが抜ける（足りない）。

A5 スキャナードライバーの「読み取り面」の設定が「白紙をスキップする」に設定されていると、黒い部分の少ない原稿が意図せず削除（スキップ）されることがあります。「白紙スキップのしやすさ」の値を小さくする（「両面原稿の中にある白紙ページの画像を削除したい」(P.66)）か、「読み取り面」を片面や両面など他の設定にしてください。原稿の重送が原因でページが抜ける場合の対処については、「Q7. 原稿が詰まる（または重送する）」を参照してください。

Q6 原稿が詰まる（または重送する）。

- A6
- 1 ローラーが正しく取り付けられているかを確認し、必要に応じてローラーを清掃してください。
 - 2 原稿が静電気などにより密着すると正常にスキャンできません。よくさばいてからセットしてください。
 - 3 給紙切り替えレバーを非分離給紙の位置（上側）にセットして、1 枚ずつ手差し給紙でスキャンしてください。

Q7 複数ページのスキャン画像を1つのファイルに保存できない。

A7 CaptureOnTouchで保存できる画像ファイルは、ファイル形式によって複数ページの画像を1つのファイルに保存できるものとできないものがあります。

- ・BMP、PNG、JPEG：常に1ページにつき1つの画像ファイルに保存します。
- ・PPTX：常に複数ページを1つのファイルに保存します。
- ・TIFF、PDF：アプリケーションの設定によって、複数ページを1つのファイルに保存することができます。

設定方法については、「ファイル形式について」を参照してください。

Q8 セットした原稿はすべてスキャンされたのに、スキャン画像がアプリケーションに表示されない

A8 スキャナードライバーの設定画面で、給紙方法を [パネルで給紙] または [自動給紙] に設定しているときは、すべての原稿の給紙が終わってもスキャン動作が終了せず、原稿の追加を待機する状態になります。スキャンパネルの [ストップ] ボタンをクリックすると、スキャン動作が終了し、スキャン画像がアプリケーションに送られます。

Q9 スキャン中にメモリー不足になり、スキャンできなくなった。

A9 コンピューターのメモリーを大量に使用するようなスキャン条件では、メモリー不足によりスキャンができなくなる場合があります。コンピューターに搭載されているメモリー容量によりますが、下記の条件が重なるに従ってメモリー不足になる可能性が高くなります。

- ・ [カラーモード] を [24ビットカラー] にする
- ・ [用紙サイズ] で大きな用紙サイズ (リーガルなど) を指定する。または [最大サイズ] にする
- ・ [解像度] で高い解像度 (600dpi など) を指定する

スキャン中にメモリー不足などのメッセージが表示されたときは、アプリケーションを終了させ、スキャン条件を変更 (たとえば、解像度を低くする、用紙サイズを小さくするなど) してからスキャンをやり直してください。また、[モアレ除去] や [裏写り / 地色除去] をオンにしている場合は、これらの設定値をオフにすることでメモリーの使用量を抑えることができます。

Q10 スキャン画像が天地逆さまになる。

A10 スキャナードライバーの設定を確認してください。Windows の場合は、[搬送] タブの [原稿の上側を下に向けてセット] がオフになっていることを確認してください。OS X/macOS の場合は、[詳細設定] ダイアログの [原稿の上側を下に向けてセット] がオフになっていることを確認してください。

ソフトウェアの操作で困ったときは

###HOME > 「第 12 章 トラブルシューティング」> ソフトウェアの操作で困ったときは ###

ここでは、付属ソフトウェア (CaptureOnTouch) の操作時に起こりうるトラブルとその対処方法を説明します。

スキャンに時間がかかる

- 1 他のアプリケーションソフトが起動しているときは、終了させてください。
- 2 システムに常駐するアプリケーション (ウイルス対策ソフトウェアなど) によってシステムのメモリーが不足すると、スキャン速度が遅くなります。このような常駐ソフトを終了してからスキャンしてください。
- 3 ハードディスクの空き容量が不足していると、スキャン時に作成される一時ファイル (一時的にスキャンデータを保存したファイル) が作成できません。ハードディスク上のデータを整理して空き容量を確保してください。
- 4 コンピューターの USB ポートが Hi-Speed USB 2.0 に対応していない場合は、スキャン速度が低下します。
- 5 Hi-Speed USB 2.0 に対応していない市販の USB ケーブルを使用している場合は、付属の USB ケーブル (Hi-Speed USB 2.0 対応) に換えてください。
- 6 Hi-Speed USB 2.0 に対応していない USB HUB を経由してスキャナーとコンピューターを接続している場合は、USB HUB を取り外し、スキャナーとコンピューターを直接接続してください。

保存したスキャン画像が、アプリケーションソフトで開けない

- 1 スキャン画像をマルチページ TIFF ファイルに保存した場合は、マルチページ TIFF ファイルに対応したアプリケーションソフトが必要です。

- 2 マルチページ TIFF ではない TIFF ファイルに保存した場合でも、TIFF ファイルが圧縮されていると、アプリケーションによっては開けないことがあります。CaptureOnTouch の TIFF ファイルの圧縮方式に対応していないアプリケーションソフトを使用した場合に起こります。この場合は画像ファイルの圧縮形式を「なし」にしてスキャンしてください。

CaptureOnTouch の UI 画面が乱れることがある

登録しているスキャンモードパネルや、出力先パネル、お気に入りパネルの数が多いと、お使いのコンピューターによっては、UI 画面が乱れたりすることがあります。使用していないパネルを削除してください。

役立つヒント集

###HOME > 「第 12 章 トラブルシューティング」> 役立つヒント集
###

ここでは、原稿をスキャンするうえで知っておくと便利なヒントを挙げます。

スキャン画像はどこに保存されますか？ また、保存先を変更することはできますか？

ソフトウェアで指定された下記の場所に保存されます。いずれについても任意のフォルダーに変更できます。

- CaptureOnTouch
3ステップスキャン、お気に入りスキャンともに [出力先パネル] で設定した出力先に保存されます。

スキャン設定をするにはどうすればよいですか？

- CaptureOnTouch
「スキャンモードパネル」の編集ボタン  をクリックし、表示されるスキャンモード編集画面でスキャン設定ができます。

複数のページを 1 つのファイルに保存したり、複数のページを 1 ファイルずつ保存できますか？

スキャン画像のファイル形式が BMP、PNG または JPEG の場合は、スキャン画像は常に 1 ページごとに 1 ファイルとなります。

スキャン画像のファイル形式が PDF または TIFF の場合は、マルチページとシングルページのどちらで保存するかを指定できます。「お問い合わせの多いトラブル」(P.100) の「Q7」も参照してください。

スキャナー設定の内容のコピーやバックアップはできますか？

- CaptureOnTouch
[環境設定] ダイアログボックスの [メンテナンス] タブの [バックアップ/リストア] で設定内容をバックアップしたり復元できます。

スキャン画像のファイル名はどのようなルールで付けられるのですか？

- CaptureOnTouch 

スキャン画像のファイル名は、3 ステップスキャン、お気に入りスキャンともに [出力先パネル] での設定に従います。この画面は出力先パネルの編集ボタン  をクリックすると表示されます。

この画面にある、[詳細設定] ボタンをクリックすると表示される次の 3 つの項目の一部またはすべてを設定することで、スキャン画像のファイル名が決まります。

設定項目	説明
ファイル名の文字列	ファイル名に付加する任意の文字列を指定できます。
日時を付加する	ファイル名に日時を付加します。リストボックスで日時の記述順を選択します。「YYYY」が年、「MM」が月、「DD」が日を表します。どの記述順を選択しても、末尾に時刻が付加されます。
ファイル名に連番を付ける	スキャン画像のページの保存順に連番を付けます。連番の桁数と開始番号を指定します。

[ファイル名の設定] ダイアログボックスの [ファイル名] には、ファイル名の設定の例が表示されます。

半折りスキャンをするにはどうすればよいですか？

給紙方法を非分離給紙に切り替え、2 つ折りにした原稿を折り目を右に向けてスキャナーにセットします (スキャナードライバーの設定で [原稿の上側を下に向けてセット] をオンにしたときは折り目を左に向けます)。スキャナー設定で原稿の半分のサイズ (2 つ折りにしたときの大きさ) を指定し、[読み取り面] を [半折り] に設定してスキャンします。詳細は [半折り原稿をセットする] (P.27) を参照してください。

白紙のページを飛ばして、白紙でないページだけをスキャンすることはできますか？

スキャナードライバーの設定画面で [白紙をスキップする] を指定してスキャンします。

カードをスキャンするにはどうすればよいですか？

排紙方法をストレート排紙に切り替え、カードを横向きにしてスキャナーにセットします。スキャナー設定でカードのサイズと同じサイズ (または [原稿のサイズに合わせる]) (Windows) / [自動で検知する] (OS X/

macOS) を指定してスキャンします。詳細は「カードをセットする」(P.26) を参照してください。

サイズの違う原稿を混載してスキャンするにはどうすればよいですか？

スキャナードライバーの設定画面で [用紙サイズ] を [原稿のサイズに合わせる] (または [自動で検知する]) にしてスキャンします。詳細は「用紙サイズに登録されていない原稿を読み取りたい」(P.64) を参照してください。

名刺や写真を上手にスキャンする方法を教えてください。

スキャナードライバーの設定画面で [用紙サイズ] を [原稿のサイズに合わせる] (Windows) / [自動で検知する] (OS X/macOS) にしてスキャンします。または、スキャンする名刺や写真と同じサイズに登録してスキャンします。詳細は「用紙サイズに登録されていない原稿を読み取りたい」(P.64) を参照してください。

スキャンしたデータを印刷したい。

- CaptureOnTouch
 - ・ 3 ステップスキャン、お気に入りスキャンともに [出力先パネル] で [印刷する] を選択します。
 - ・ 本機能を使用するには、プラグインをインストールする必要があります。
 - ・ プラグインは、CaptureOnTouch のインストール時にチェックをつけてインストールすることができます。

スキャンしたデータを共有フォルダーに保存したい。

- CaptureOnTouch
 - ・ CaptureOnTouch では、[フォルダーに保存する] 以外の保存先は、プラグインとして提供しています。
 - ・ プラグインをインストールすることによって、スキャン画像を印刷したりメール添付したり、さまざまなクラウドサービスを利用して共有することができます。
 - ・ プラグインは、CaptureOnTouch のインストール時にチェックをつけてインストールすることができます。
 - ・ インストールしているプラグインによって、選択できる出力先は異なります。

スキャンしたデータをメールに添付させたい (またはメール送信したい)。

- CaptureOnTouch
 - ・ 3 ステップスキャン、お気に入りスキャンともに [出力先パネル] で [メールに添付する] を選択します。
 - ・ 本機能を使用するには、プラグインをインストールする必要があります。
 - ・ プラグインは、CaptureOnTouch のインストール時にチェックをつけてインストールすることができます。

原稿のカラー自動検知機能について知りたい。

本製品のスキャナードライバーは、原稿の内容からカラーモードを自動で検知する機能を持っています。

この自動検知機能で検知できるモードは、使用するアプリケーションおよびスキャナードライバーの設定によって次のようになります。

条件	検知できるモード
CaptureOnTouch のスキャナー設定の [カラーモード] で [自動で検知する] を選択したとき	カラーまたはグレー
スキャナードライバーで [フルオートモード] を選択したとき	
スキャナードライバーの [カラーモード] を [自動で検知する] にしてから、自動検知の詳細設定をしたとき	次のいずれかを選択可。 ・ カラーまたはグレー ・ カラーまたは白黒 ・ カラー、グレーまたは白黒

第 13 章 付録

###HOME > 第 13 章 付録 ###

仕様	105
交換部品	107
外形寸法図	107

仕様

###HOME > 第 13 章 付録 > 仕様 ###

本体

形式	卓上型シートスルースキャナー
読み取り原稿サイズ	
普通紙	
幅	50.8 ~ 216mm (2" ~ 8.5")
長さ	53.9 ~ 356mm (2.12" ~ 14") (長尺モード時は最大 3,000mm (118.1"))
紙厚	U ターン排紙時: 52 ~ 128 g/m ² (0.06 ~ 0.15 mm (0.0024" ~ 0.0059")) ストレート排紙時: 40 ~ 209 g/m ² (0.05 ~ 0.25 mm (0.002" ~ 0.0098"))
最大積載枚数	約 30 枚 (80g/m ² 紙) 積載高さ 6mm まで
名刺	
幅	50.8mm (2") × 長さ 53.9mm (2.12") 以上
紙厚	300g/m ² (0.35mm (0.0138")) 以下
挿入方向	縦送りのみ
カード	
サイズ	53.9mm (2.12") × 85.5mm (3.37") (ISO/JIS 規格準拠)
カード厚	0.76mm (0.03") 以下 エンボス部は 1.4mm (0.055") 以下
挿入方向	横送りのみ
排紙方法	ストレート排紙のみ
エンボス付き	可能
給紙方法	自動
読み取りセンサー	CIS
光源	LED
読み取り面	片面 / 両面
読み取りモード	白黒、誤差拡散、256 階調グレースケール、アドバンスドテキストエンハンスメント、アドバンスドテキストエンハンスメント II、24 ビットカラー
読み取り解像度	150×150dpi、200×200dpi、300×300dpi、400×400dpi、600×600dpi
読み取り速度	
(条件: CPU Core i7 2.8GHz、実装メモリー 4GB、原稿サイズ A4、Windows 搭載コンピューターに接続時)	

USB 接続時			
白黒	片面	200dpi	25 枚 / 分
		300dpi	25 枚 / 分
	両面	200dpi	50 面 / 分
		300dpi	50 面 / 分
グレースケール	片面	200dpi	25 枚 / 分
		300dpi	25 枚 / 分
	両面	200dpi	50 面 / 分
		300dpi	50 面 / 分
24 ビットカラー	片面	200dpi	25 枚 / 分
		300dpi	15 枚 / 分
	両面	200dpi	50 面 / 分
		300dpi	30 面 / 分
Wi-Fi 接続時 (接続する機器や通信状況によっては、実際の読み取り速度が下記の値と異なることがあります。)			
白黒	片面	200dpi	25 枚 / 分
		300dpi	25 枚 / 分
	両面	200dpi	50 面 / 分
		300dpi	35 面 / 分
グレースケール	片面	200dpi	25 枚 / 分
		300dpi	25 枚 / 分
	両面	200dpi	50 面 / 分
		300dpi	35 面 / 分
24 ビットカラー	片面	200dpi	25 枚 / 分
		300dpi	15 枚 / 分
	両面	200dpi	50 面 / 分
		300dpi	27 面 / 分
インターフェイス		Hi-Speed USB 2.0	
その他の機能		半折りスキャン	
外形寸法 (幅 × 奥行き × 高さ)			
給紙トレイを閉じた状態		300 (11.81") × 156 (6.14") × 220 (8.66") mm	
給紙トレイを開いた状態		300 (11.81") × 235 (9.25") × 339 (13.3") mm	
質量 (AC アダプターを除く)			
	DR-C225 II	約 2.7kg	
	DR-C225W II	約 2.8kg	
電源 (AC アダプター使用)	DC16V	0.7A	
消費電力			

DR-C225 II	100V	動作時	12.7 W 以下
		スリープモード時	1.7 W 以下
	120V	電源スイッチ OFF 時	0.5 W 以下
		動作時	12.7 W 以下
	200 - 240V	スリープモード時	1.7 W 以下
		電源スイッチ OFF 時	0.5 W 以下
DR-C225W II	100V	動作時	12.8 W 以下
		スリープモード時	1.8 W 以下
	120V	電源スイッチ OFF 時	0.5 W 以下
		動作時	15.6 W 以下
	200 - 240V	スリープモード時	4.4 W 以下
		電源スイッチ OFF 時	0.5 W 以下
騒音	使用環境	動作時	15.6 W 以下
		スリープモード時	4.3 W 以下
		電源スイッチ OFF 時	0.5 W 以下
		動作時	15.6 W 以下
		スリープモード時	4.4 W 以下
		電源スイッチ OFF 時	0.5 W 以下
		56dB 以下	
	温度 :	10 °C ~ 32.5 °C	
	湿度 :	25% (RH) ~ 80% (RH)	

AC アダプター (100 ~ 240V 型)

型番	MG1-5042
入力	AC100 ~ 240V 50/60Hz 0.57 ~ 0.32A
出力	DC16V 1.6A
質量	約 0.2kg (電源コード含まず)

交換部品

###HOME > 第 13 章 付録 > 交換部品 ###

交換ローラーキット (商品コード: 5484B001)

搬送ローラー (給紙ローラー、分離ローラー) の交換キットです。
交換方法については、「消耗品の交換時期」(P.88) を参照してください。



お願い

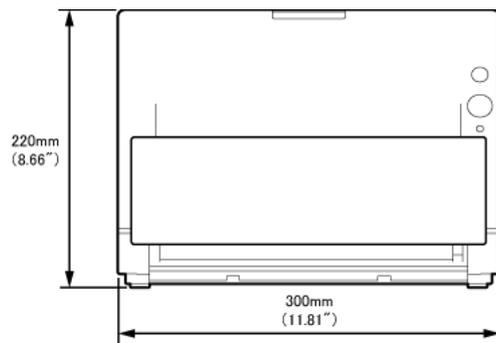
交換部品の詳細については、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

製品改良のため仕様は予告なく変更することがあります。

外形寸法図

###HOME > 第 13 章 付録 > 外形寸法図 ###

■前面



■側面

